JUMP COMICS
第16巻
幽☆遊☆白書
★魔界への突入!!の巻
冨樫義博

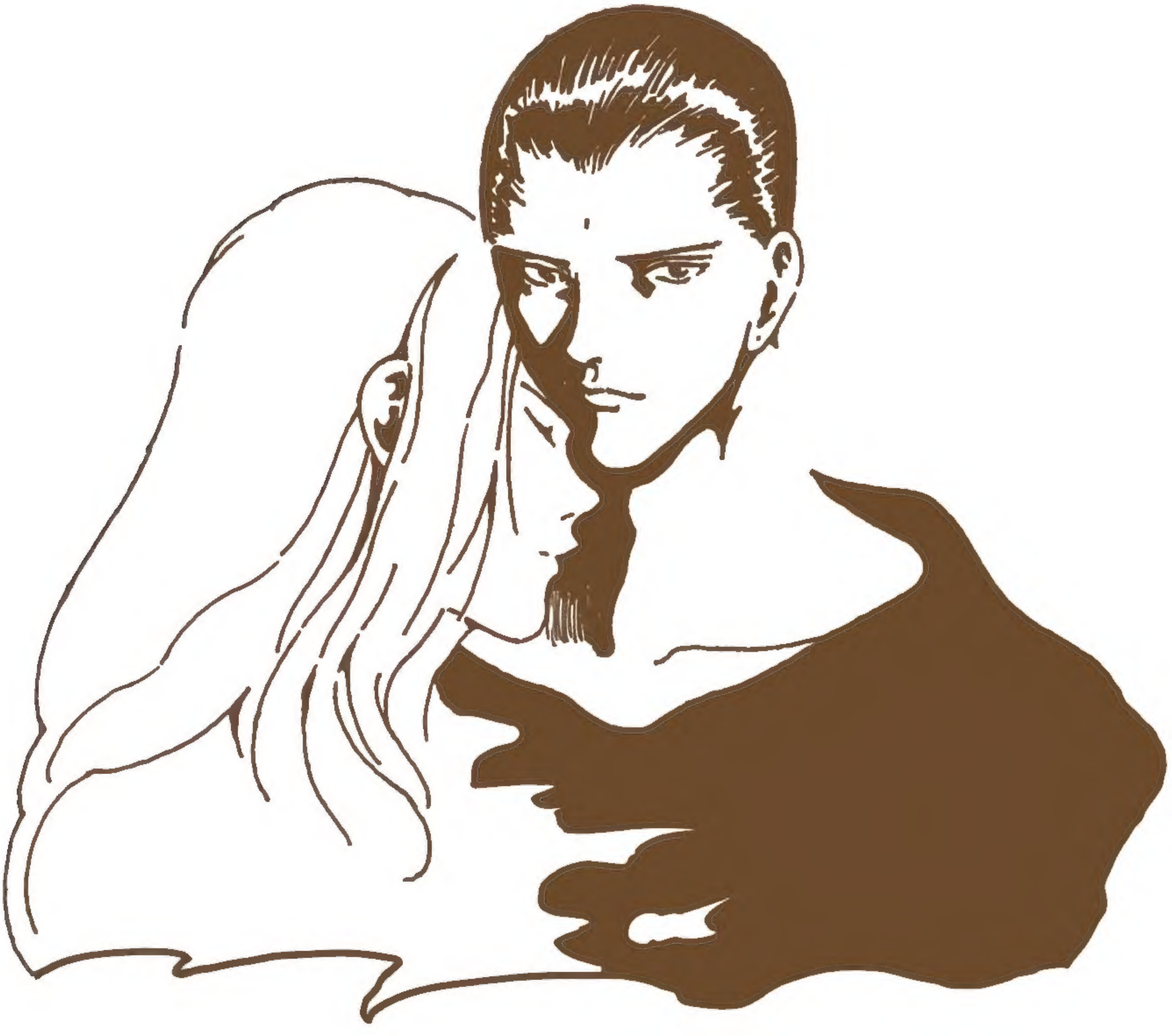
★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。著者カラー原画に加え、著者の原画をもとに集英社でデジタル彩色を行った特別編集版です。

JUMP COMICS

ゆうゆうはくしょ

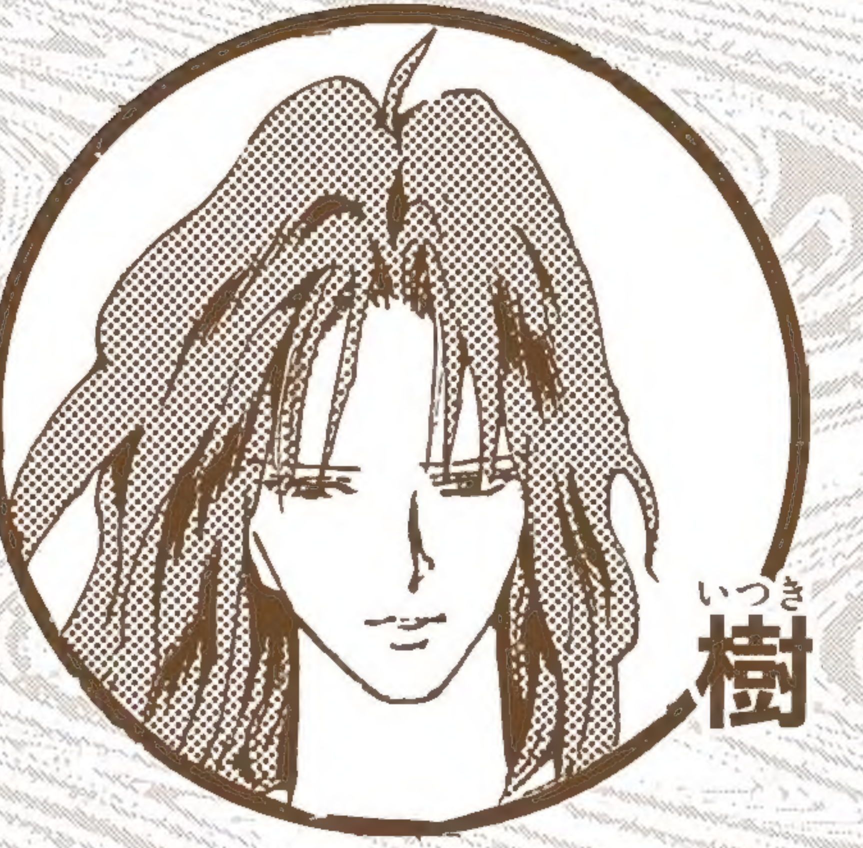
幽遊白書

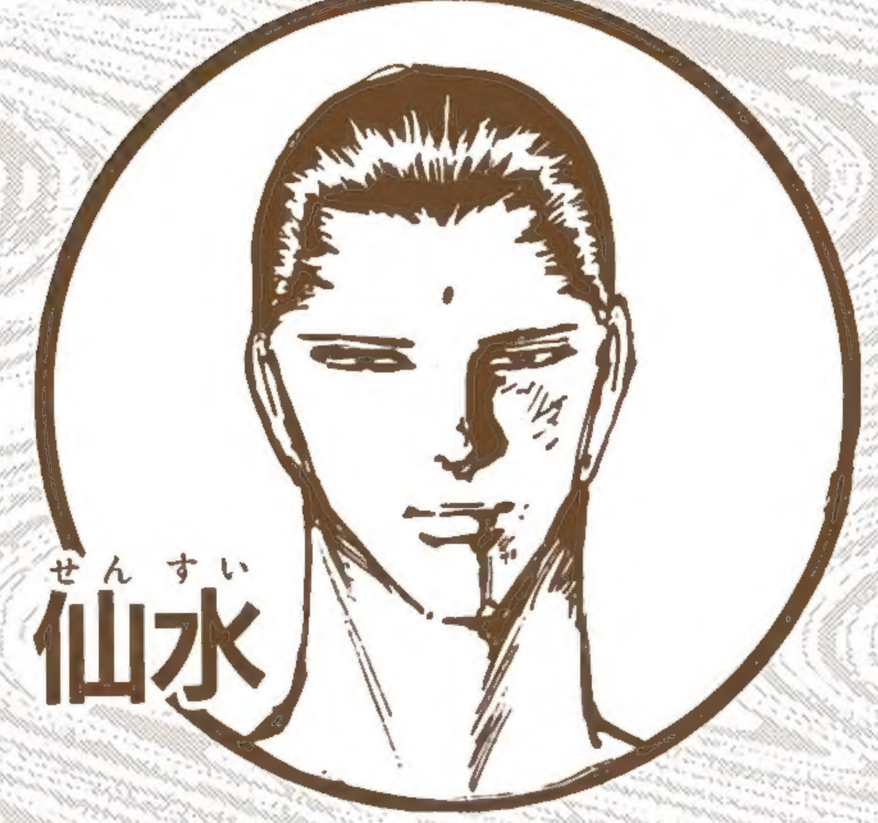
⑯魔界への突入!!の巻



冨樫義博

登場人物紹介
幻海
蔵馬
桑原和真
浦飯幽助
コエンマ
飛影
ぼたん





前巻までのあらすじ

この物語は、主人公、浦飯幽助の数奇な運命の物語である…。

不慮の事故で幽霊と化した幽助だが、数々の試練を乗り越え元の体に戻れることになった。そして霊界探偵となった幽助はそれゆえ妖怪たちに狙われる身となる…。

元霊界探偵、仙水が魔界の穴＝界境トンネルを広げ、人間界をパニックに陥れようとしていた。仙水を捕えるため、躍起になる幽助達。だが、次元を切る能力に目覚めた桑原が、仙水に捕えられてしまった。敵の本拠地に乗り込む幽助達だが…!?　はてさて!?

ゆう ゆう はく しょ

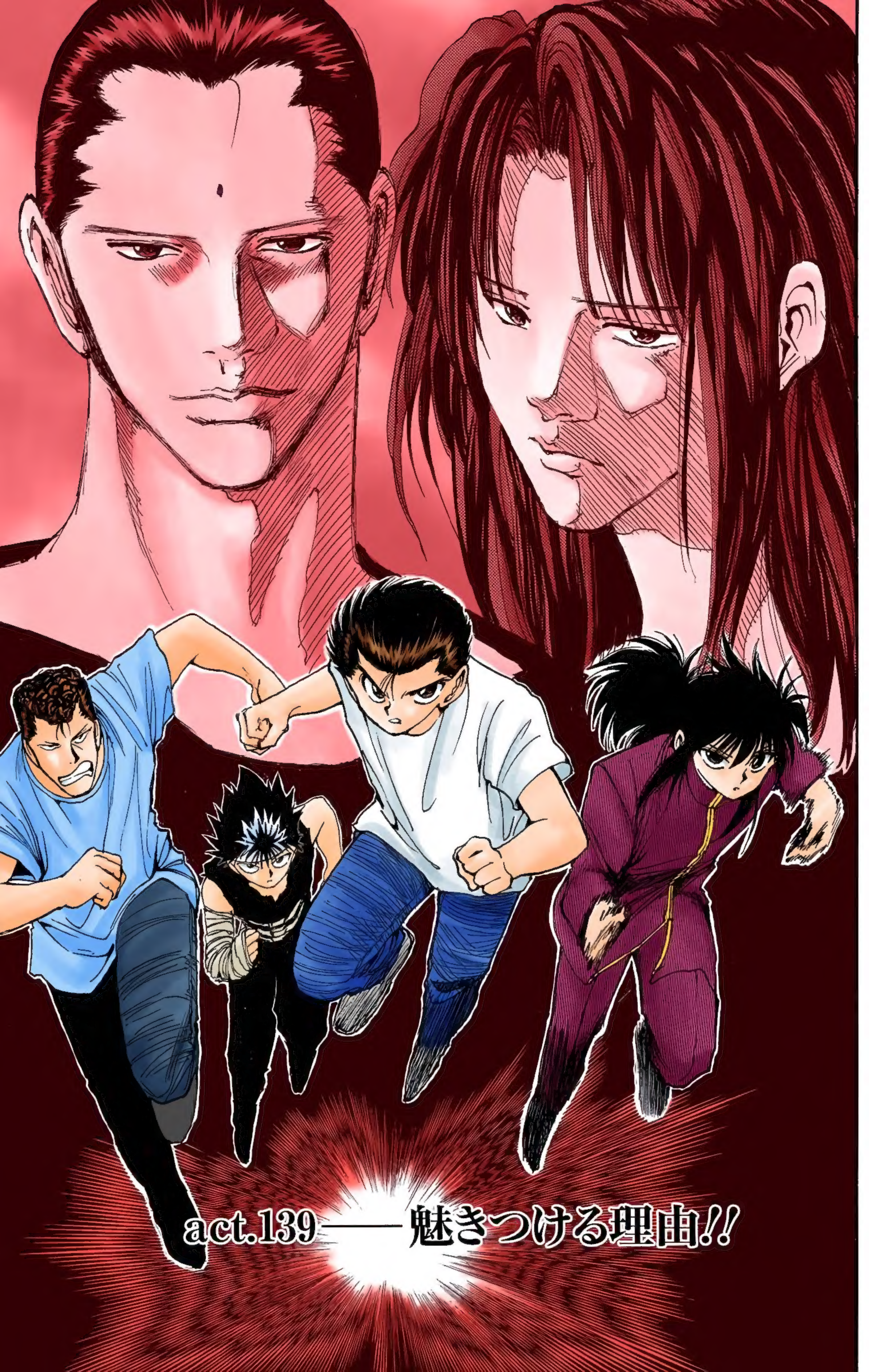
幽☆遊☆白書

第16巻

魔界への突入!!の巻

もくじ

act.139　魅きつける理由!!——7
act.140　勝てない理由 その1～3!!——27
act.141　七人いる!!——47
act.142　コエンマの本気!!——66
act.143　究極の闘気!!——85
act.144　止められない!!——105
act.145　全てが止まった瞬間!!——125
act.146　魔界への突入!!——145
act.147　絶望の続き…!!——165
act.148　覚醒の瞬間!!——185


act.139——魅きつける理由!!

ゴゴゴゴ
キキ
なぜだァーー
なぜ死なねェェェ
ギギ
キキキキ
ザザザ
キキキ
あと二人

あいつを倒したら桑原返すって言ったよな
いやだっつっても取り返すがな
フ
約束は守るさ
というよりも
もう守ったんだがね

ギイ
ギイ
!?
舟の上の桑原がいねェ…!?
もがはが
どん

い…いつの間に
桑原！一体何があった
ぷはっ
妙な手につかまれて闇に放りこまれたかと思ったらここに……
今だ!!
ギロ
!!

何イ!?
パカァ
バク
モグモグ
ペッ
ゴン
ぐあっち
っ痛～～
!!

奴らはオレにまかせろ
ズズ
ズズ
ズズ
トプン
いったん返してまた奪うってか
てめェららしいやり方だぜ
それは誤解だ彼らに直接危害を加える気はない
君と二人きりになりたかった

こ ここは一体どこなんだ
んが―――その前に これ解いてくれ!!
ここは亜空間だ
どうやらオレ達は裏男にくわれたらしい
裏男…次元間の狭間で生きる平面妖怪か
偶然とは思えない誰かに飼いならされているな
その通り
裏男はオレのペットだ
お前も妖怪か

〝闇撫〟の樹
闇撫
次元を自由に移動する「影ノ手」を持つ妖怪
異次元に生きる下等妖怪を僕にできる数少ない種族の一つである
なるほど
オレにやらせろ気がおさまらねー!!
はやるなお前達とやる気はない
二人の闘いを見守ってほしい
?

立場は違えどお互い一人の男に魅かれ行動を共にした
ちがうかね
けっ できれば教えてもらいてェもんだな
あの仙水のどこが気に入ったってんだかよ
全てさ
彼の強さも弱さも 純粋さ醜くさ 哀しさ全て
あいつの人間臭さ全てに魅かれていった
最初に会った時は敵だった
「仙水を見て生きて帰った魔物はいない」闇の世界でそうささやかれる程 仙水は既に強く
事実 彼は倒した妖怪は全て殺してきた
だがオレは殺されなかった

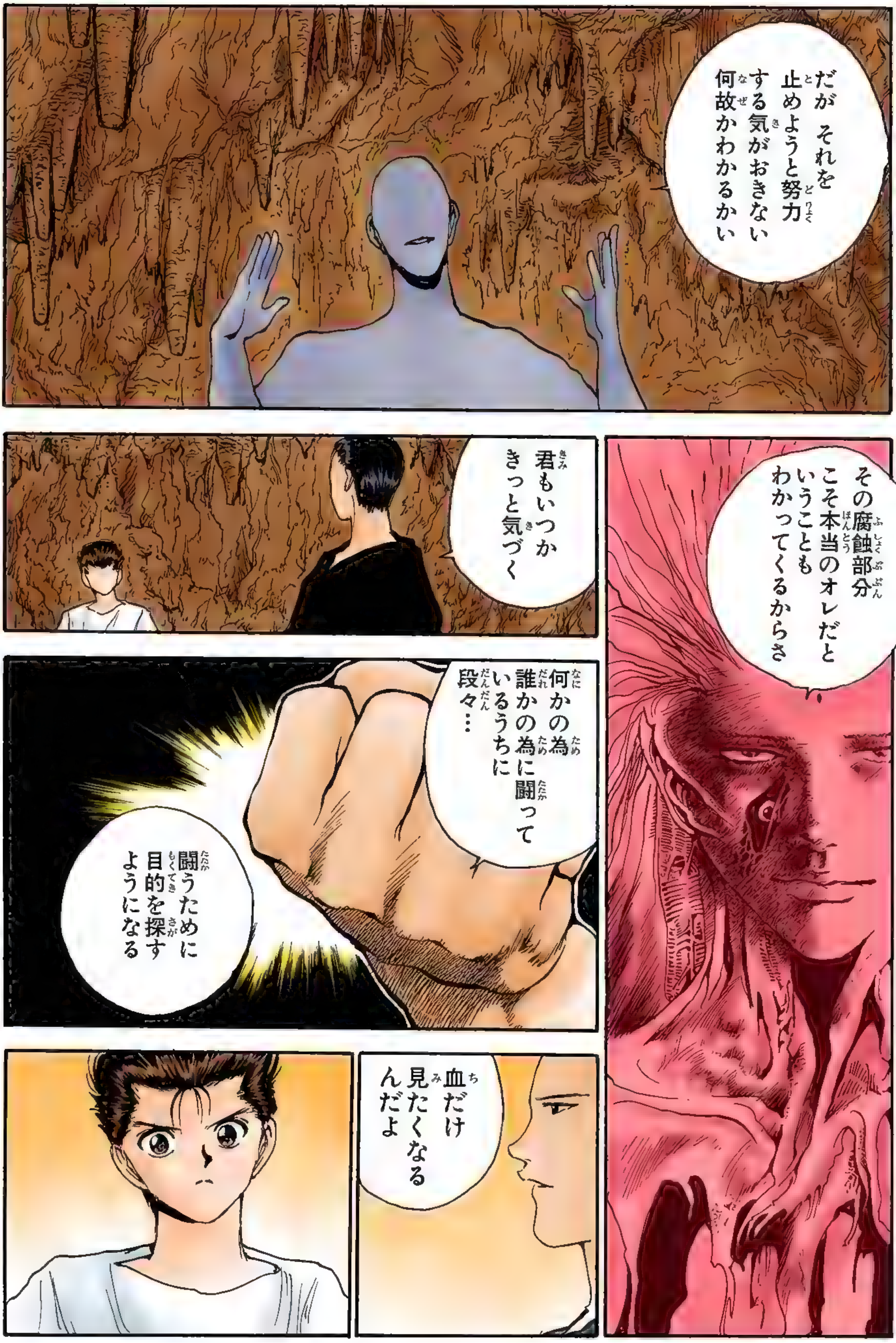
死ぬ前に言い残すことはあるか?
……
できればもう一日生きたい
なぜだ?
明日「ヒットスタジオ」に戸川純が出る
オレも毎週見てる

笑い話さ
オレがほんの少し「人間臭さ」を口にしたことが
その時の仙水には天地がひっくり返るほどのショックだったらしい
妖怪にもいろんな奴がいるんだな
小一時間ほど雑談した後そう言った仙水の顔は年齢以上に幼く見えた
敵を殺す術にかけては超一流の暗殺者が
新雪みたいに無垢な素顔も持っていた
時限爆弾と恋人をいっぺんに手に入れたような気分だったよ
オイオイ段々話が妖しくなってきやがったぞ
お前なら止めることができたはずだ
仙水がこうなってしまう前に
……わかってないな

オレは彼が傷つき汚れ堕ちていく様をただ見ていたかった
何イ～～～
「キャベツ畑」や「コウノトリ」を信じている可愛い女のコに無修正のポルノをつきつける時を想像する様な下卑た快感さ
その点人間の醜い部分を見続けた仙水の反応は実に理想的だったな
割り切ることも見ぬふりもできずにただ傷つき絶望していった
そしてその度強くなった

吐き気がしてきたぜ サイコ野郎め
諸悪の根源はてめーみてーな気がしてきた
誤解は困る オレが仙水をしむけたわけじゃない オレはただの影
変わっていく彼を見守り 彼の望むままに手を貸しただけだ
そして これからもそうするだろう
……できるなら この場でお前を殺してやりたいよ
賢明な君なら それができないことも わかっているだろう
オレを殺せば 永遠に裏男の腹から出られない
!!

我々(われわれ)はただ見守(みまも)るだけ…
霊界探偵(れいかいたんてい)を続(つづ)けている内(うち)にね…心(こころ)が何処(どこ)かから腐(くさ)っていくのがわかるんだ
………


だが それを止めようと努力する気がおきない何故かわかるかい
その腐蝕部分こそ本当のオレだということもわかってくるからさ
君もいつかきっと気づく
何かの為誰かの為に闘っているうちに段々…
闘うために目的を探すようになる
血だけ見たくなるんだよ

穴なんかもうどうでもいいんだよ
お前と対峙するこの瞬間が最も大事なのさ
?

速い!!
バカか てめェは
それなら「どっちか死ぬまでやろう」でいいじゃねェか

なぜ はじめから オレにケンカ 売ってこねェ
こうでもしなきゃ オレが逃げると でも思ったのかよ
ムカつくぜ てめェ
ククク
お前は シンプルで いいな
ボウ
それも よかろう

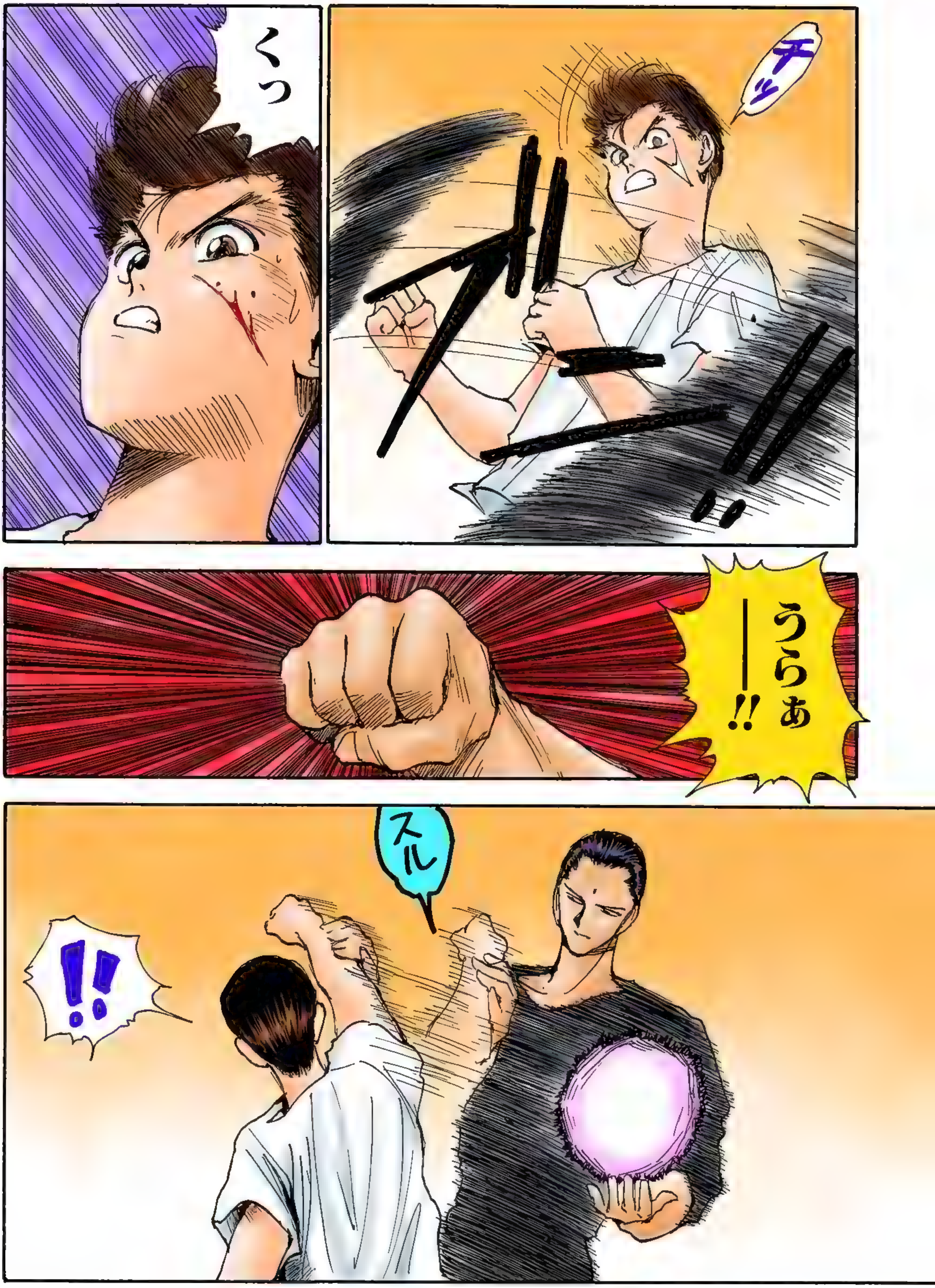
幽遊白書

Yu★Yu★
HAKUSHO

act.140――勝てない理由 その１～３!!

浦飯くん…君のパワーを10とすると オレは6と7の間くらいだろう
？
スピード バネ スタミナ 全て君が上だろうな…
だが 君はオレに勝てない

なぜかわかるかい?
理由はカンタンでーー
てめーの頭がイカれてんだよ
そのタマ蹴るヒマ与えねーぜ!!


チッ
くっ
うらぁ——!!
スル
!!

ドガッ
でで
てめーうそつき!!
オレの方がスピードあるならなんでパンチが当たんねーんだよ!!
君が勝てない理由その1
オレには君の攻撃がなんとなく読める
なんとなくだァ——!? 子供かてめーは!
キッチリ説明しやがれ!!
つまりキャリアさ 生まれたときから妖魔と戦ってきた戦歴
さっきみたいに不意をつかれ攻撃をくらっても
戦いのカンってやつが反射神経よりも早くオレを動かし致命傷をさける

ケンカの数なら負けてね———!!!
フ
!?

くっ
ヒュ
上(うえ)か!!!
!!?
!!
下(した)だよ

ドドド
ドッポォ

よっしゃあ――!!!
浦飯必殺メニュー
内臓殺し!!
オレは
あれで一週間
メシが食えなく
なったんでー!!
上がってこい
コラ!!
まさか
溺死なんて
オチじゃねー
だろーな
やれ
やれ
服が
ボロボロに
なってしまった
ザブ
げっ
!!

すげェ
傷だらけだぜ
百戦錬磨ってのは伊達じゃねぇな
桑原くん それは違う
これは修業中に自ら負った傷だよ
敵につけられた傷など一つもない
いいガタイしてやがる
ぶ厚いタイヤを殴ったみてーな感触だったぜ

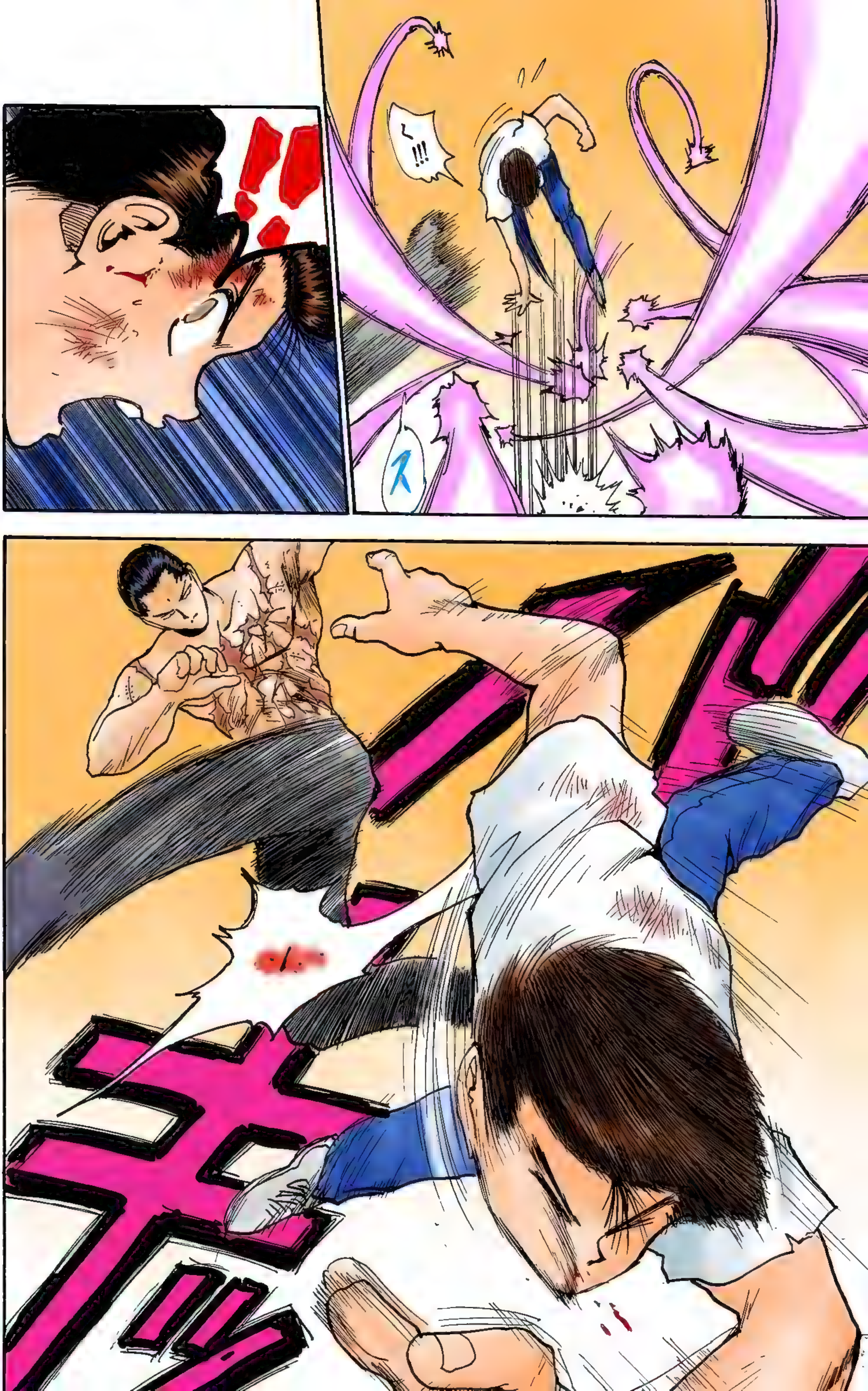
ブゥ〜〜ン
!?
スゥ〜〜
気の塊の遠隔操作もできるのか
やっかいだな
むん!!!

ゴゴゴ
な…なんて数だ!!
あの球の力全部足したら浦飯の霊丸と同じ…いやそれ以上かも
少々本気を出すか
行くぞ

裂蹴ウウ紫炎弾!!

数が多すぎる!!
ちィ!!
!!!

ドゴッ
……!!
くっ



!!
ヘ!!!
ス

がっ…
ギャギギギギ
ぐわっ
ドドドドドドン
うらめしィ――!!
ふぬっっ まだまだァ
ダン
ぐ
くそっ

フフフ さすがに タフだな… しかし君は 勝てない
理由その2 君は多角的な 攻撃にひどく 弱い
何イイ？
君は一対一の 戦いに慣れ すぎている
逆にオレは いつも一人で大勢の 敵を相手に戦って きた…
その結果 生まれた技が この裂蹴紫炎弾 とうてい君一人で 避けきれる技じゃ ない

ゴゴゴゴゴ
……
バカな…ちくしょォ
あれだけの霊気を放出したすぐ後でまた同じだけの力を
まずい…まずいぞ
まさかこんなに差があるとは……
そして決定的な理由その3
霊気の全容量すなわち霊力値の差だ
君の霊力値を10とすると
オレは100だ!!

幽★遊★白書

Yu★Yu★
HAKUSHO

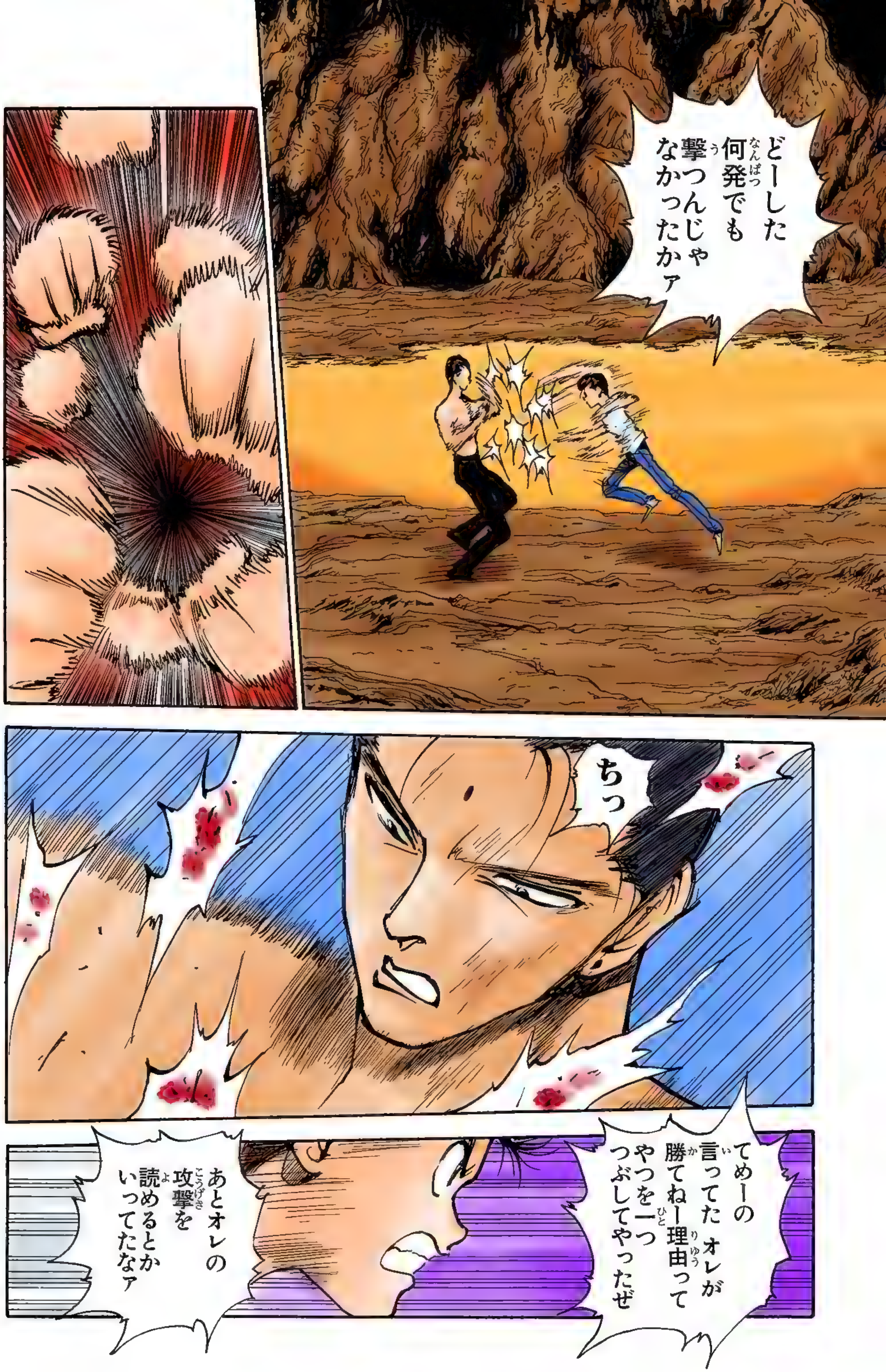
act.141 —— 七人いる!!

act.141——七人いる!!

立てェ
立ちやがれ
浦飯ィィ!!
わかってらァ
外野はだまってろ
へっへ――
平気 平気
霊力値がオレの十倍だかなんだか知らねーがよ
こんな攻撃〝へ〟でもねーぜ
フ…
よかろう
ならば何発でもくれてやる
くらえ
裂蹴紫炎弾!!

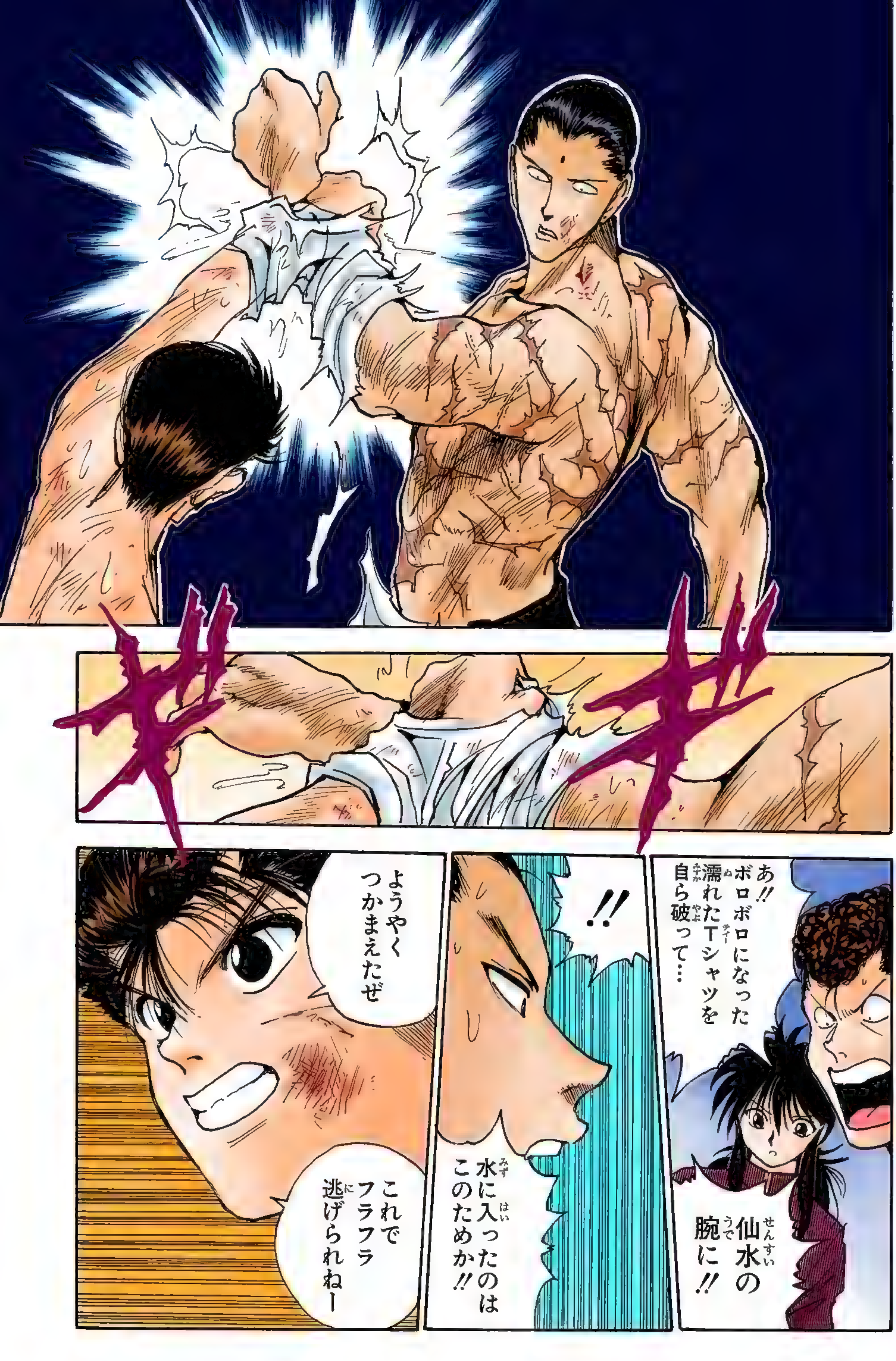
グ・
うおお
む
ガガガ

いたくねー!!
避けられねーならガマンするだけで――
攻撃は最大の防御だぜ
あのタマの攻撃力が弱いと判断して攻めに徹する気か
切り替えの早い幽助らしい戦法だな

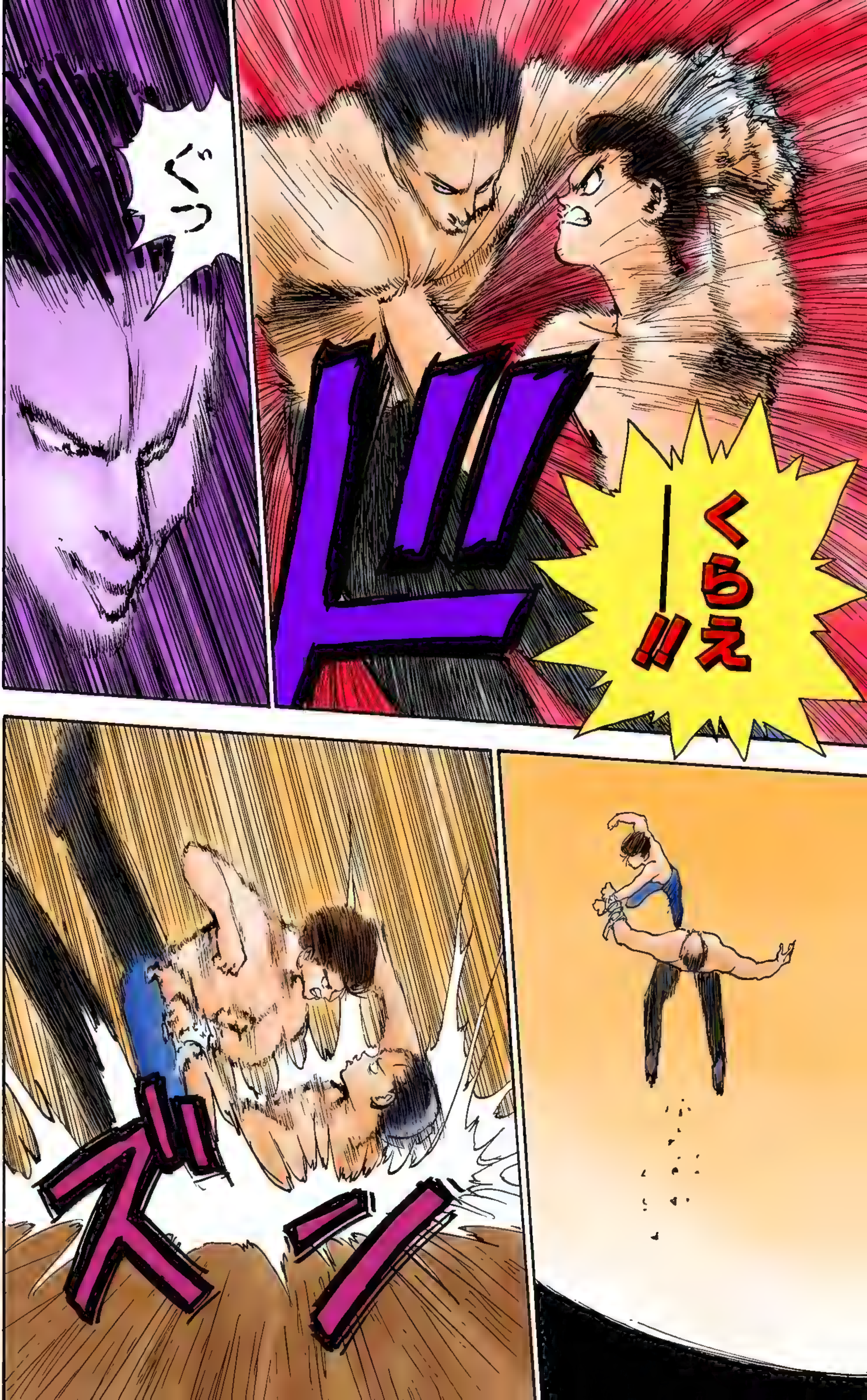

どーした何発でも撃つんじゃなかったかァ
ちっ
てめーの言ってたオレが勝てねー理由ってやつを一つつぶしてやったぜ
あとオレの攻撃を読めるとかいってたなァ

これならどーだァ――!!
ドボーン
!?
ブァハハハどーだ!!読めるか!?
オレ様の次の行動が――!?
ザバ
ザバ
……
バカかてめーはァ泳いでどーする
確認せんでもバカだ

あ――
一泳ぎして
すっきりしたぜ
よっしゃ
戦闘再開
うらぁ!!
フッ また
お決まりの
鉄拳攻撃か
さっきの茶番は
体力回復のための
時間稼ぎと
いったとこだろ
!!!



あ!! ボロボロになった 濡れたTシャツを 自ら破って…
仙水の腕に!!
!!
水に入ったのは このためか!!
ようやく つかまえたぜ
これで フラフラ 逃げられねー


ぐっ
くらえ――!!
ドン
ズン

うおお
形勢大逆転――!!
イッキだ
一気に決めろォ!!
オラも一丁ォ

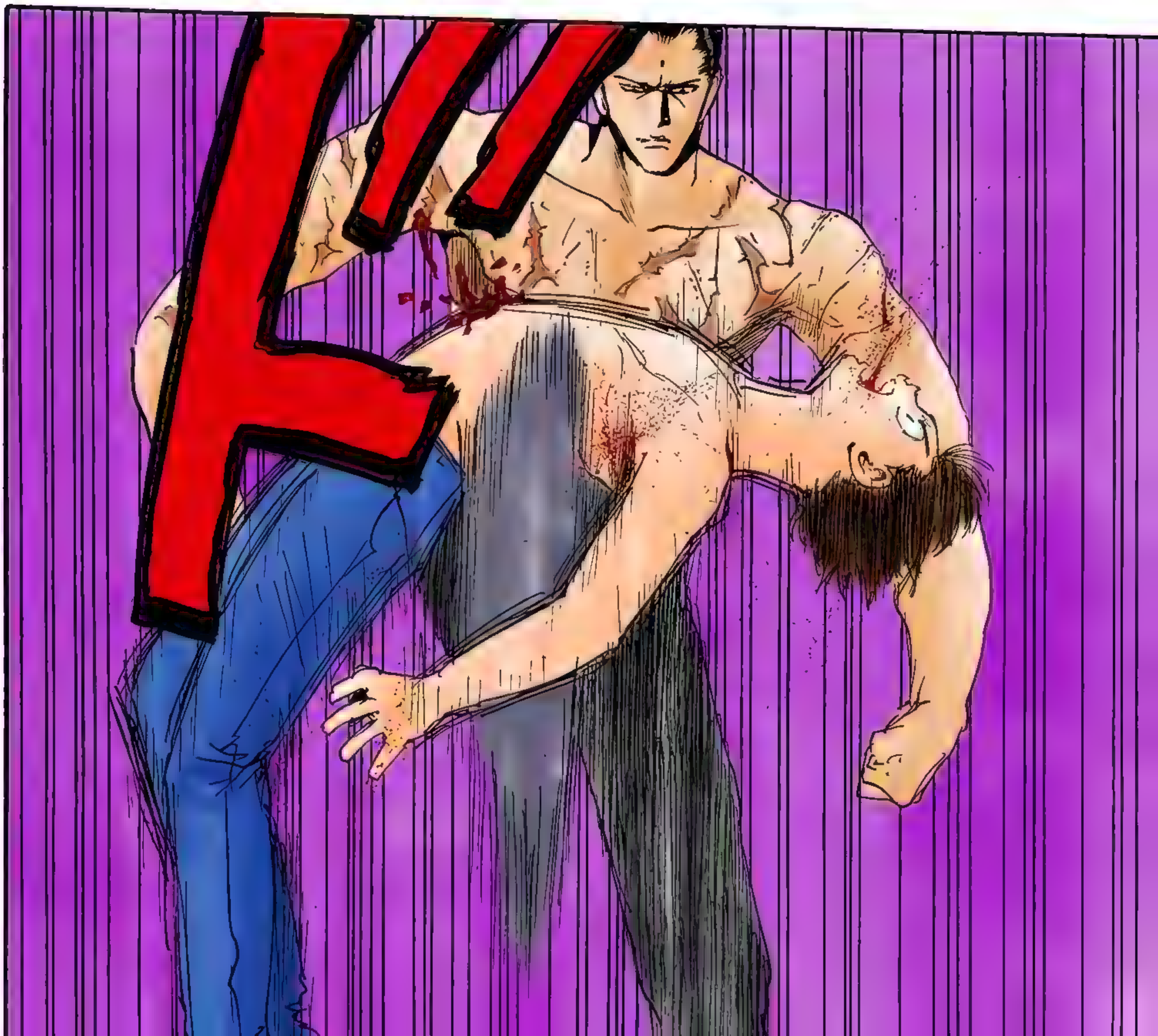
ドム
!!

浦飯ーー!!
ドオッ
ぐはっ
銃を仕込んでいたとは…

ブル
ブル
ギリ
ギリ
ブル
くそガキがァアア
いつまでも調子に乗ってんじゃねェ――!!
このコエダメがァ――ア!!
口調が変わった!? 顔つきも!?
ヤロォとうとうぶっち切れやがった

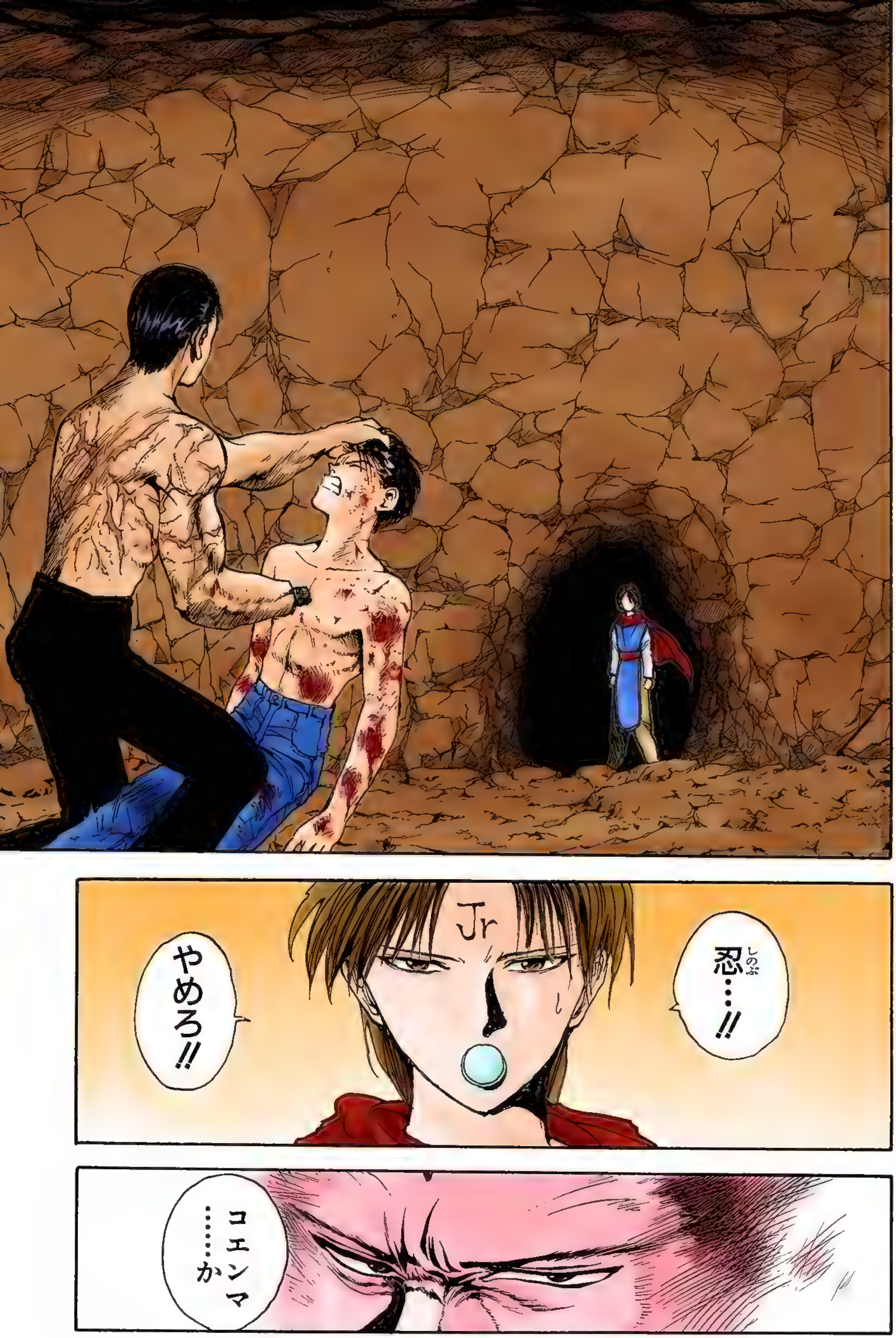
入れ替わったんだよ
腕に仕込んだ氣硬銃を使えるのは「カズヤ」だな
「カズヤ」──!?
何言ってやがる奴の名前は仙水忍っつんだろがよ
多重人格……!!
その通り
終わりない闘いの中で仙水が自ら創り上げた哀しい別人格さ
な…
しらなかった…
七人!?
仙水の中には本人格の「忍」も含めて七人の別人格がすんでいる
さっきまで闘っていたのは理屈屋の「ミノル」プライドが高くおしゃべりだ
浦飯に思わぬ反撃をくらったのがショックで「カズヤ」と交代したらしいな

「カズヤ」は七人のなかでも殺し専門
赤子さえ喜んで殺す殺人狂さ


ド

うぎゃあ
あぁっ
驚いたか
これがホントの
奥の手だ
がほォ
あああ!!
「ミノル」がしゃべってた続きだぜ
てめェが オレに
勝てねェ理由その4
これは決定的だぜ
へへへへ
「カズヤ」が出てきたからだ
ドンドン
ドンドン
ドンドン
ドンドン

うあぁあ
ああ
くくくく
お前いい声で鳴くじゃねェかあ〜〜〜ん？
感じてきちまったぜ
ひひ
だが
お別れだ
あばよ
待てー
ー!!


忍(しのぶ)・・・!!
Jr
やめろ!!
コエンマ……か

act.142——コエンマの本気!!

コエンマ…
忍…もうやめろ
これ以上罪を重ねるな……!!
…
!!

ぐっ
ドサァ
ち……まだ そんな力が残ってたか
危ねェとこだったぜ
…ぐっ とんだ…ジャマが入っ…たぜ
ヤツが…近づいたスキ…に…特大の一発
ゴゴゴゴ
くらわしてやれ…たのに……

油断もスキもあったもんじゃねェな
さすが「忍」の後任者だけあるぜ
コエンマ言っておくが忍は今眠ってるぜ オレは「カズヤ」だ
てめェの指図なんざうけねェよ
――と言っても誤解するなよ
今回の計画は・・オレ達全員で決めたことだ
「忍」も含めてな
奴の言ってるオレ達とは仙水の中の別人格達のことだな
そうだ

仙水の中には忍も含めて七人の人格がいる
主人格が忍で他に戦いを担当する人格が三人別のことを担当する人格が三人いる
女性の人格も一人いて「ナル」という名の泣き虫役だ
彼女は内気で純情で傷つきやすくオレはよく悩みを打ち明けられて彼女を慰めた
やめろォオ こっちまで頭がおかしくなるう
彼女はオレの前にしか出てこなかった
オレは忍の次に彼女が好きだった
全ての人に墓を掘る… オレ達七人で墓を掘る…
はじめから仙水は
たった一人でこの計画を思いたったんだな
そうさ
オレ達はただのコマさ

忍を出せ
奴と話がしたい
忍ぅ…どうする？
…
話したくねェってよ
嫌われたなァへへへへ
……
だがワシの言うことは聞こえているはずだな
今からでも遅くない
こんなバカなマネはやめるんだ

おおお
手遅れだぜ よく見ろよ
既に穴は安定期をこえた もう開くのを待つだけなんだよ
むっ

穴が開いた上からさらに強力な結界をはることはできる
数百年後に訪れる暗黒期を抑えるためにワシの霊気を凝縮している魔封環…
今ここで使わざるをえまい
これでお前の計画はくずれる
ワシを殺してこれを奪わぬかぎりな
てめェ…本気みてェだな
今すぐ相談するがいい お前達七人で
続けるかやめるか二つに一つだ
……いいだろ

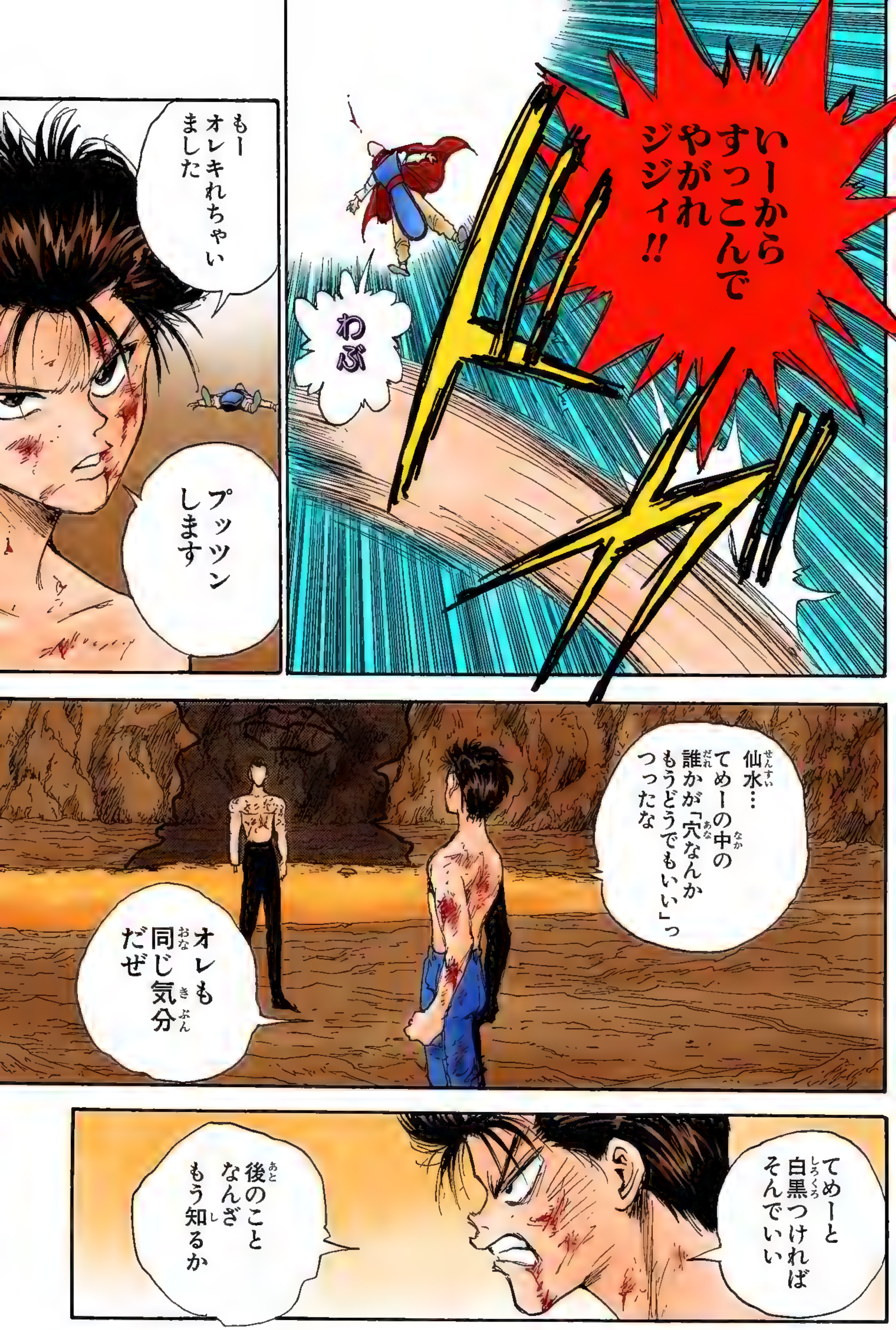
忍…もしお前がこれ以上続けると言うなら
すぐにこの魔封環を解き放つ
ワシ自らが結界の一部となりお前もろとも魔界にとりこんでやろう
共に地獄におちよう
それが お前を霊界探偵に任じたワシの責任 そして償いだ

……決が出たぜ
なんと全員一致だ
Jr

ゲーム続行だよ
お前を殺してな
魔封環!!

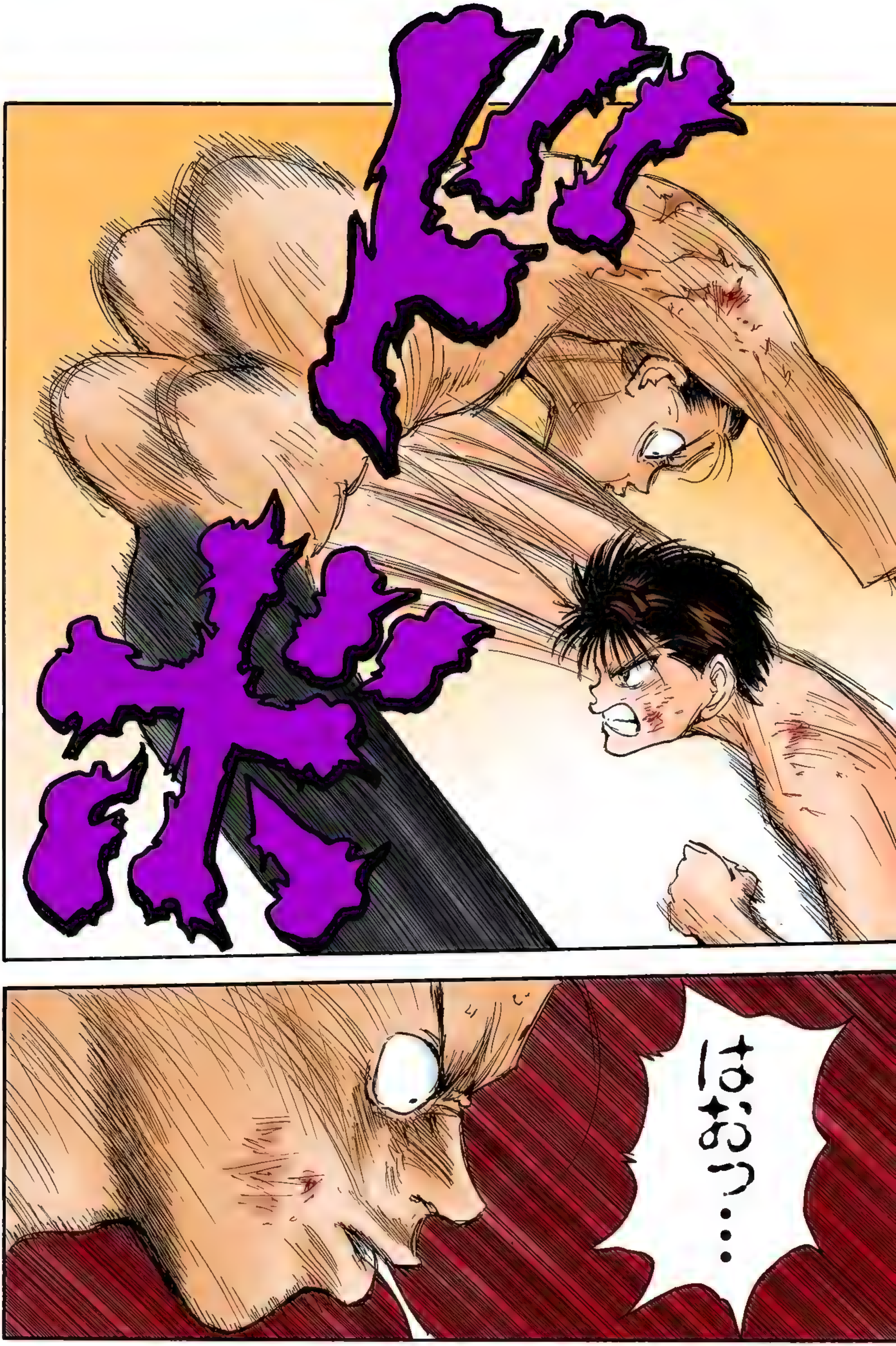
ぱしっ
!!
浦飯!!
うらめし

何ゴチャゴチャ オレのいねーとこで 話進めてやがんだ
な
血ィ流してんのは 誰だと 思ってやがるんだ 全く
あっ 汚ね ヨダレ ついてら
ま… おかげで
ちっとは 休ませて もらったがよ
…そうか 霊光波動の 継承者でも あったな
未熟だが たいした 回復力と 精神力だぜ
ババカ者 返せ!! すぐよこせ
やだ
すたたたたた
ふざけてる 場合か!! わっ 股ぐらに 入れるなっ!!
おのれは 自分のやっとる ことが わかっとん のかー!!

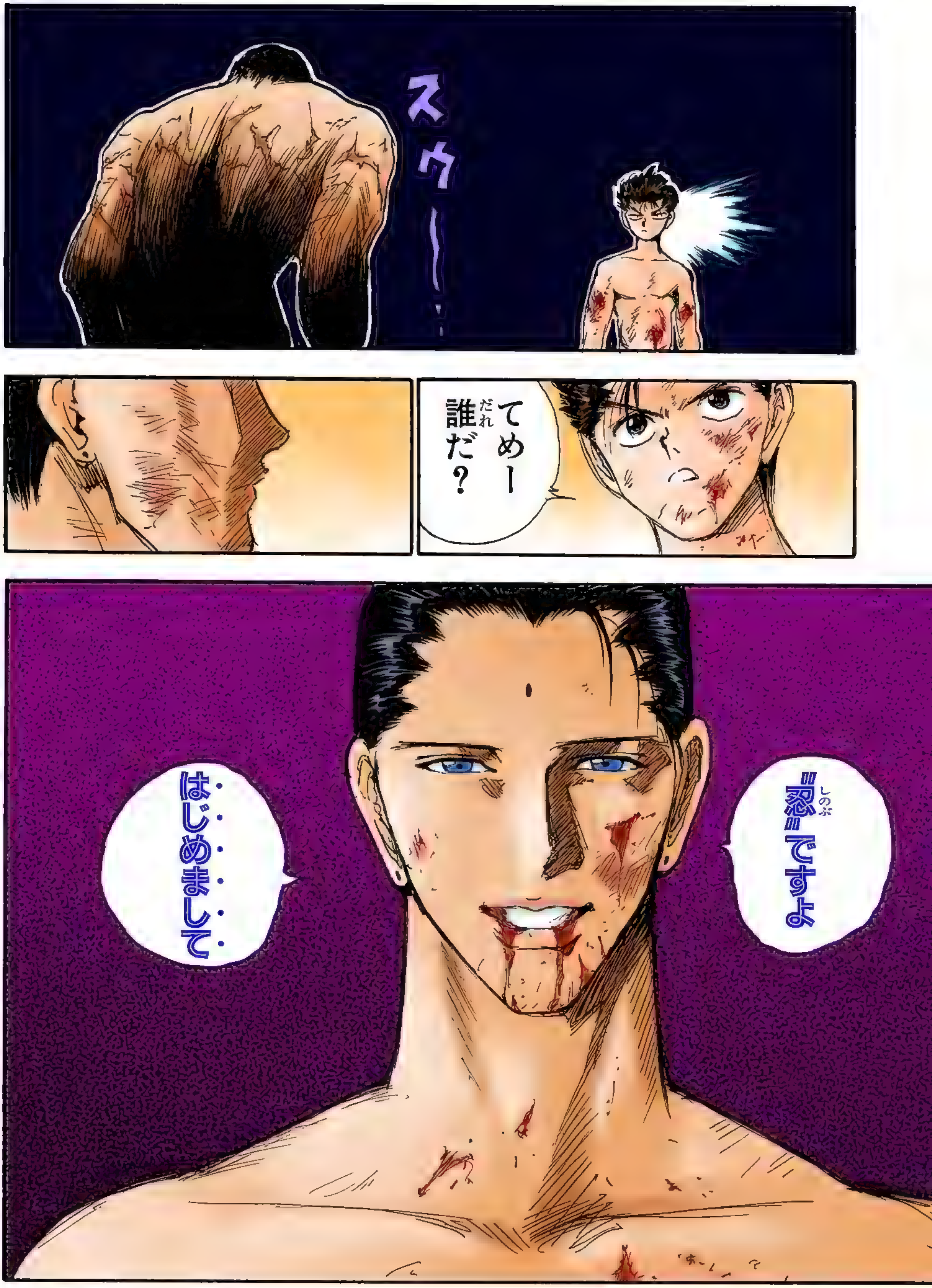

いーからすっこんでやがれジジィ!!
わぶ
もーオレキれちゃいました
プッツンします
仙水…てめーの中の誰かが「穴なんかもうどうでもいい」っつったな
オレも同じ気分だぜ
てめーと白黒つければそんでいい
後のことなんざもう知るか

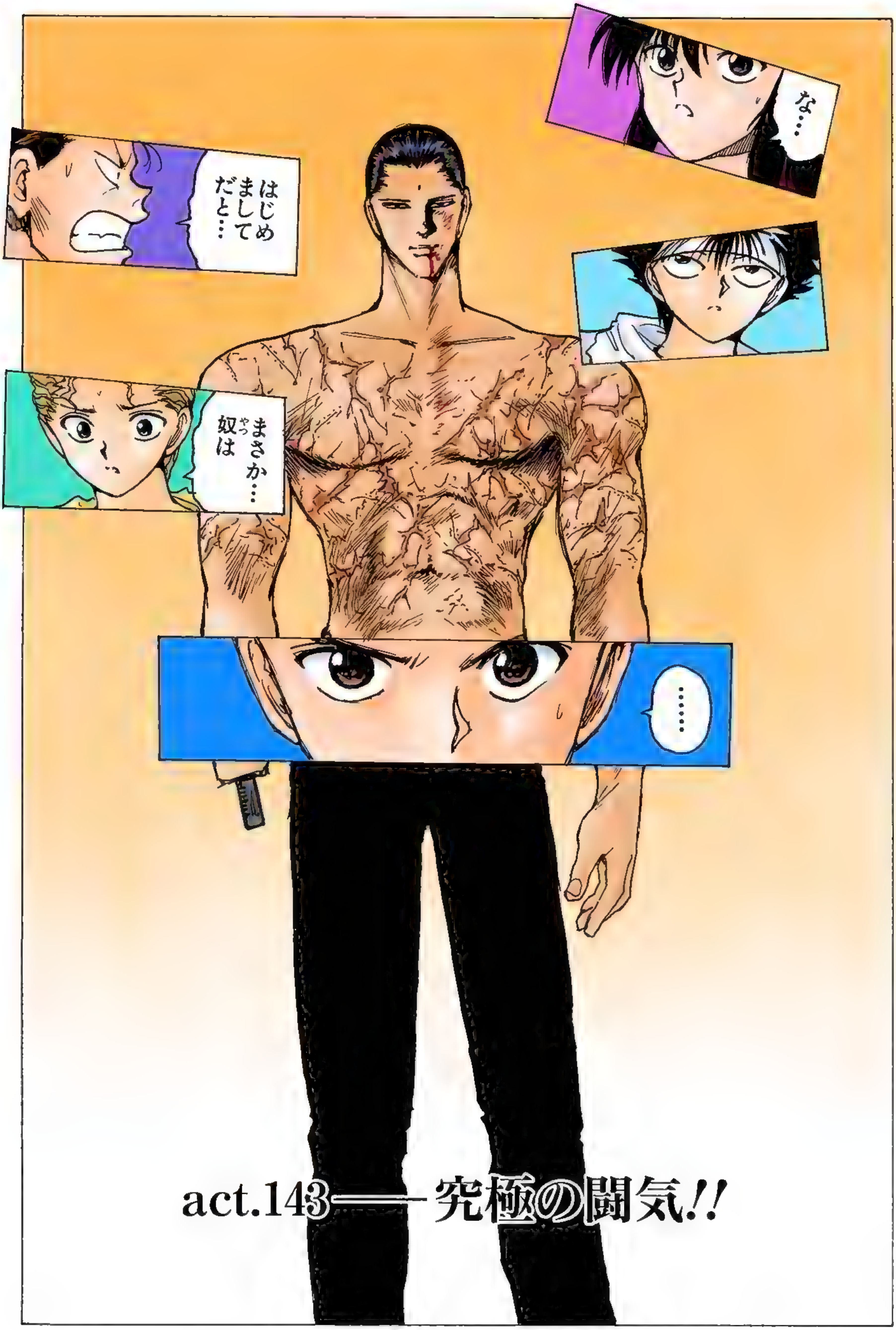
……切れたというよりも
どんどん浦飯らしさをとり戻していくよーな
おいてめー「カズヤ」とか言ったな他のやつと代われ
?
さっきまでオレと戦ってたヤツがいたろ
そんでいいそいつもっぺん出せ
何言ってやがるバカが!!さっさとかかってきやがれ
てめーじゃ役不足だっつってんだよバカ野郎

ふざける……
!?
なっ…
すっ

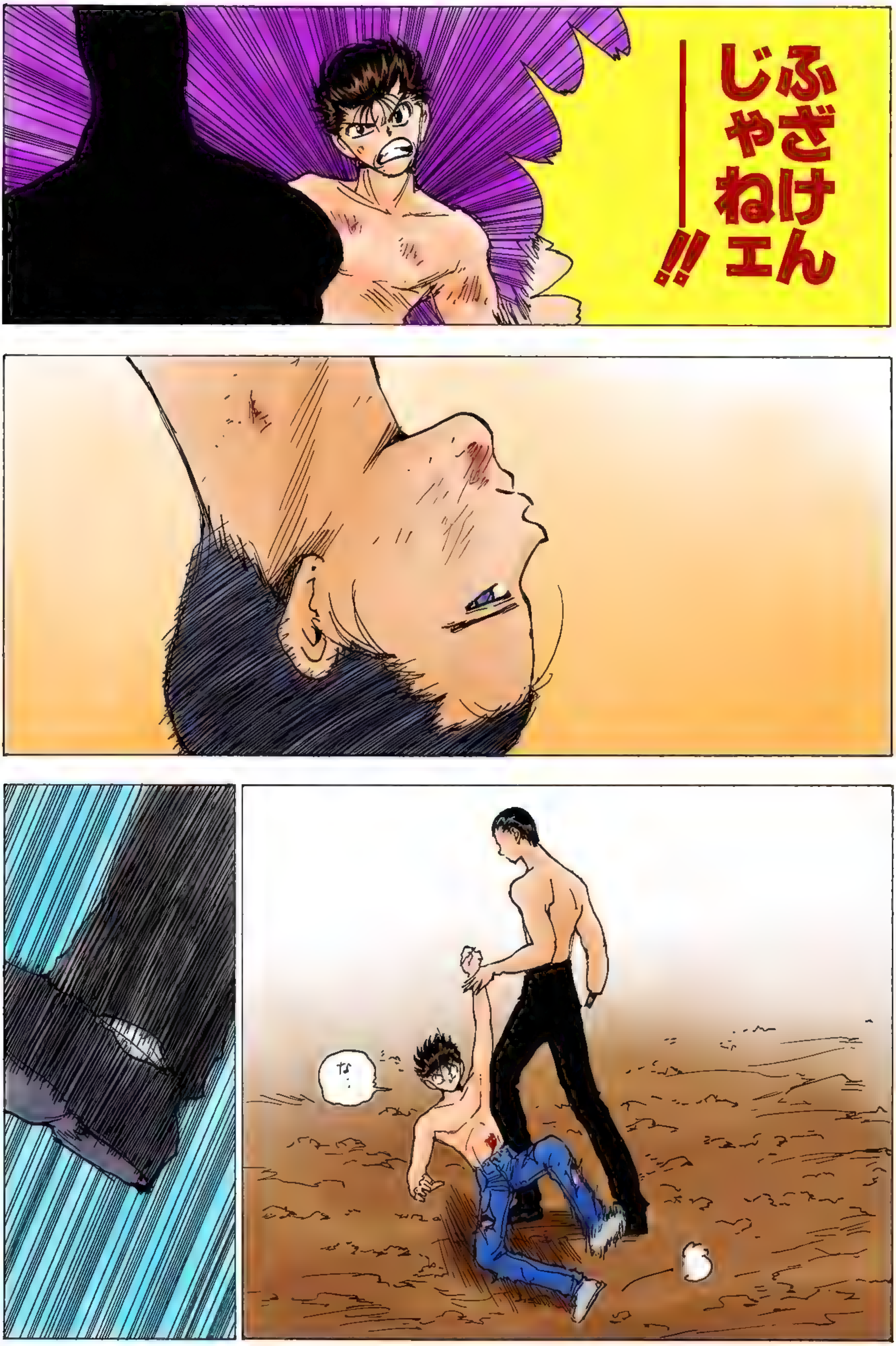

ドボ
はおっ…

ぐあっち
ぐエほオオ
ぐぎが〜〜〜
なんのォオ イタくねェ——!!
……これで わかったろ てめーの中で 一番強い奴 出しやがれ
そいつと あらためて キッチリ ケリつけたる
うお
おおお
おう おうう
ゲホッ


スウ～～‥
てめー誰だ？
〝忍〟ですよ
……はじめまして……

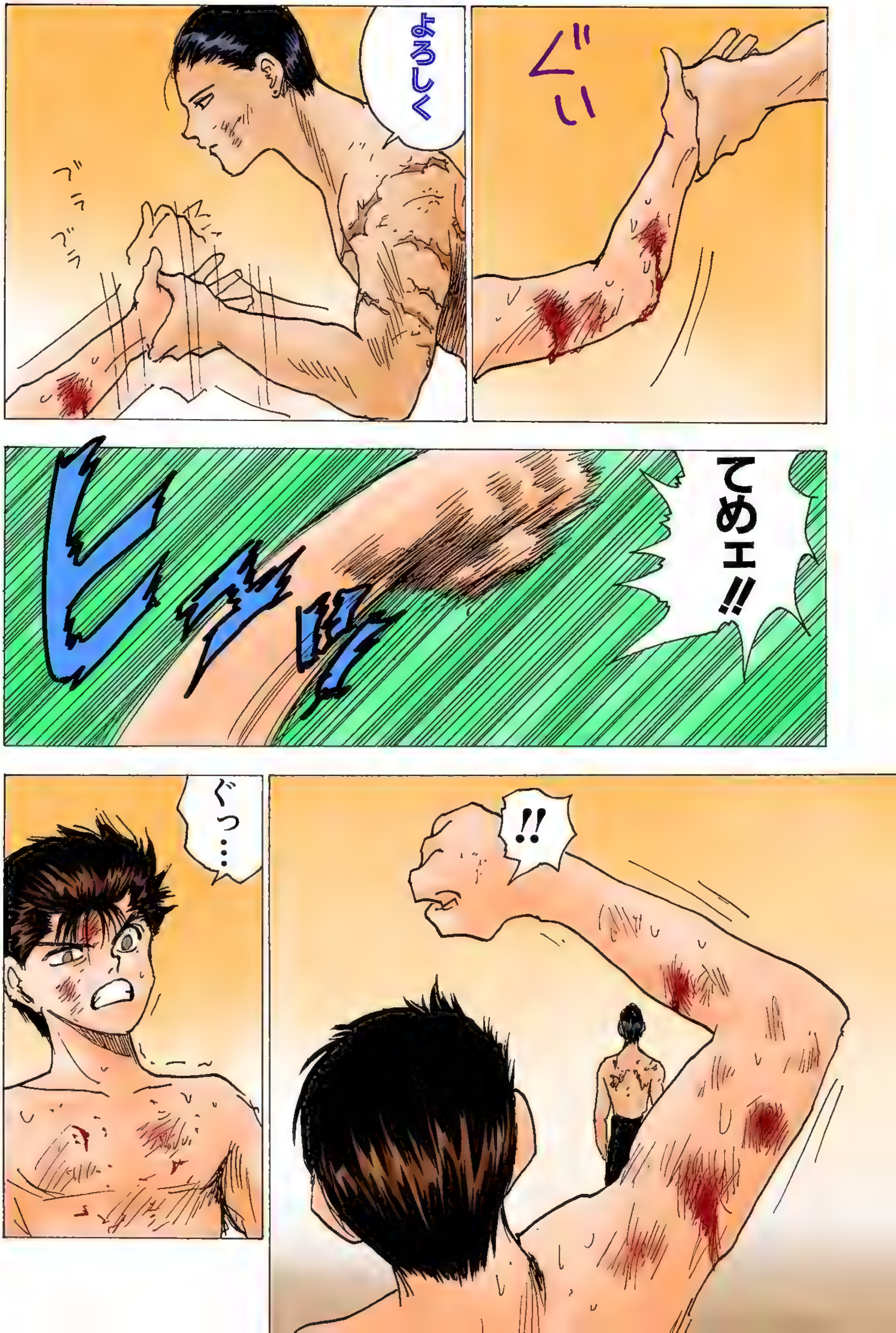

な…
はじめましてだと…
まさか…奴(やつ)は
……
act.143——究極の闘気!!

そう 君達と話をするのは初めてだ
――というより人前に出てくることすら 何か月ぶりくらいだ
よろしく
じゃ…オレらはずっと てめエのカゲを…
へ…へへへ


ふざけんじゃねエ――!!
な・・

ドッ
がっ…!!!

あ…あ
げはっ


ぐい
よろしく
ブラブラ
てめェ!!
!!
ぐっ…

樹
スペアの服と腕を
今の…今の仙水…さんには危なさも冷静さも威圧感も全てある
欠けてたものが全て埋まったみたいな完全さを感じる
へっ 主人格なんて言っても 所詮奴の切れはしなんだ
何のことはねェ 結局奴は最初からたった一人なのさ
浦飯!! びびんな
どーせ主人格も今までの奴等の寄せ集めに違いねーーっ!!
初めて見た時から感じてた奴の不気味さ
手の内を全て見せた様でいて なおさらに裏ワザを持っていそうな奴がようやく全てを見せようとしてやがる
今までの仙水とはくらべものに ならねェ

おもしれェ
はははははははははは

ははははは
ははははははははは

ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ

!?
黄金の霊…気
い…いや
霊気じゃない!!
妖気でもないぞ
うっ…
っ痛~~
!!
………
ま…まさか
あれは
あの気は

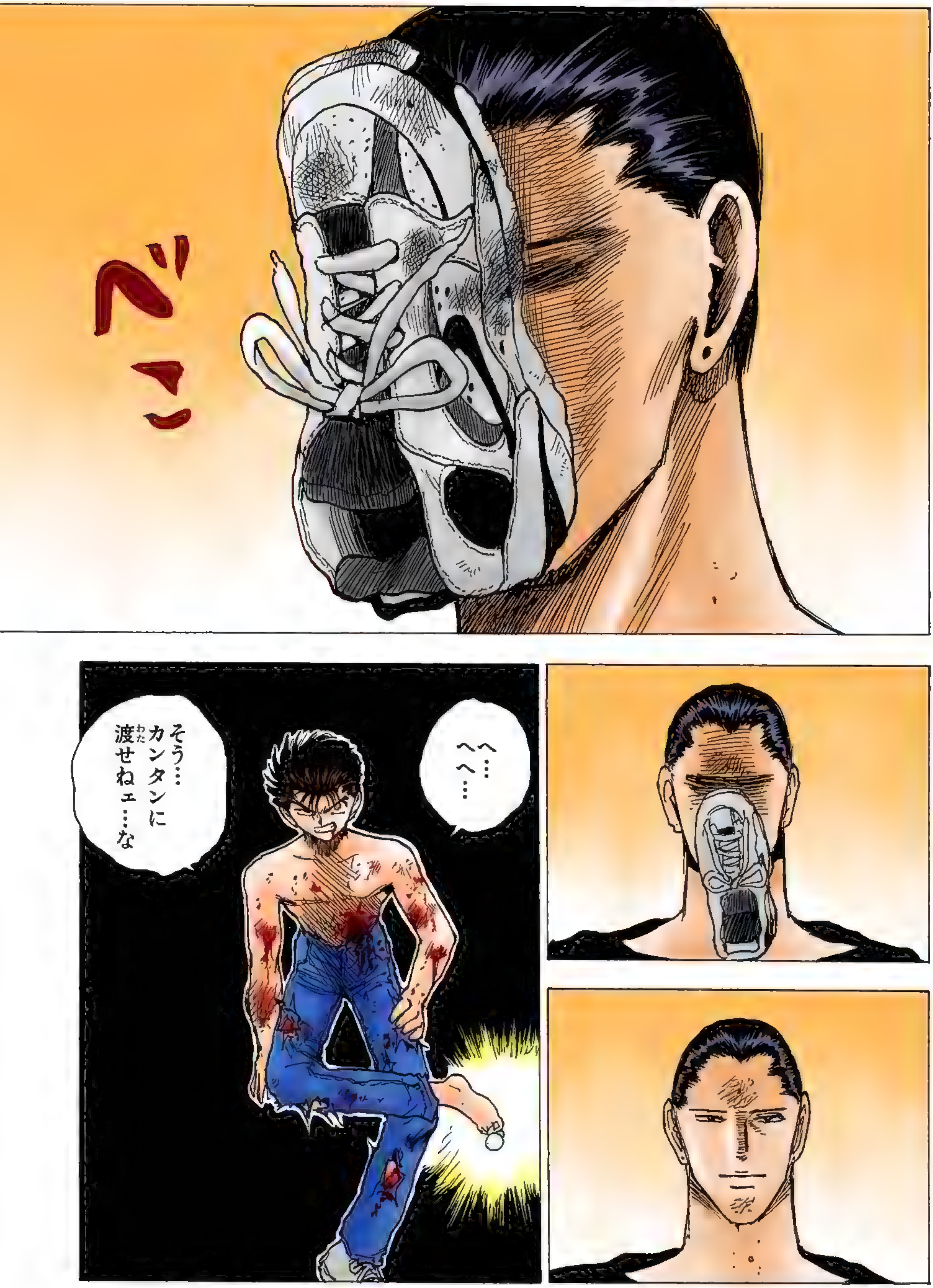
聖光気!!
幻海すら持ち得なかった究極の闘気!!
お前は…それを この10年たらずで…
生まれつきどうしようもない才能の差はあるものだ
例えば浦飯くん君の気が仮にオレの数十倍の容量をもったとしても
君の気では聖なる力を持てない
質も量もオレが上
少し心配だよ
弱い者いじめになってしまうかもしれない

ぐあ
バゴン!!

ぐあっ…
お……あ
ぐぐ
うおおーー!!
くくく
ドンッ ッ ッ ッ
ははは

ははははははははははは
!!
もう休みたまえ

ボキ
ぎゃああああああああ――!!
浦飯イ――!!!


ベン
へ…へ…
そう…カンタンに渡せねェ…な

まだ死にたくないだろ?
降参よりましだ
忍!!
てめーはだまってろ
このままやらせろ…
幽助…
お前一体…
やらせてくれよたのむ…

もうちょっと なん…だよ さっきから
あと…ちょっとで …オレも 何か つかめ…そう なんだ
何？
ズズ…
へへ…へ 忠告しとくぜ
怖けりゃ… 今のうちに 迷わずオレを 殺せ…よ
？
さあ… こいよ
きっと… 面しれェことが 起きる

幽★遊★白書

Yu★Yu★
HAKUSHO

act.144——止められない!!

さあ…こいよ
浦飯め…また何か狙ってやがるぜ
仙水がとびこむ瞬間に
……あるとは思えんな
ピク
何?
一対一で勝てる相手じゃない…
なんだとこの…
う…
飛影が…汗をあんなに

貴様は奴と同じ人間だから感じないらしいな
奴の今の気は妖怪でいえばS級クラスだ
な…
できる限り最小限に力を抑えているよ
幽助の腕を折ったときもアリをつまむぐらい優しく
蔵馬!! おめーまで
甘かったなただの身の程知らずだと思っていたが
本気でオレ達を皆殺しできるほどの力を持っていやがった
笑えるぜ魔界ですらS級クラスの力の持ち主には滅多に会えん
人間界で…しかも人間の中にこんな奴がいるとはな…
そ…んな…

ゴオー
ガラ
ガラ
おや…こんなに力を抑えているのに……
もう大地に影響を与えてしまった
オレの唯一の弱点だ…ふふ
人間界では五分の力すら出せない
ストレスだよ
これは…ふふふふ

関係ねーんじゃねーのか?
人間界ぶっつぶしたいんだろ
ならぶっこわせばいいじゃねェか
全力で暴れてみろよ
ギ
馬鹿者めが
それが傲慢だというのだ!!!

わっ
うお
失礼
オレは花も木も虫も動物も好きなんだよ
嫌いなのは人間だけだ

くっ
オレはてめーが嫌いだ
立ちたまえ
とどめをさしてやろう

幽助!!
魔封環をよこせ
まだ間にあう
おしゃぶりか?
もうねーよ
何…
今のスキに
とられちまった
あいつ
すげーわ
好都合だ

ドン
魔封環(まふうかん)!!!

魔封環

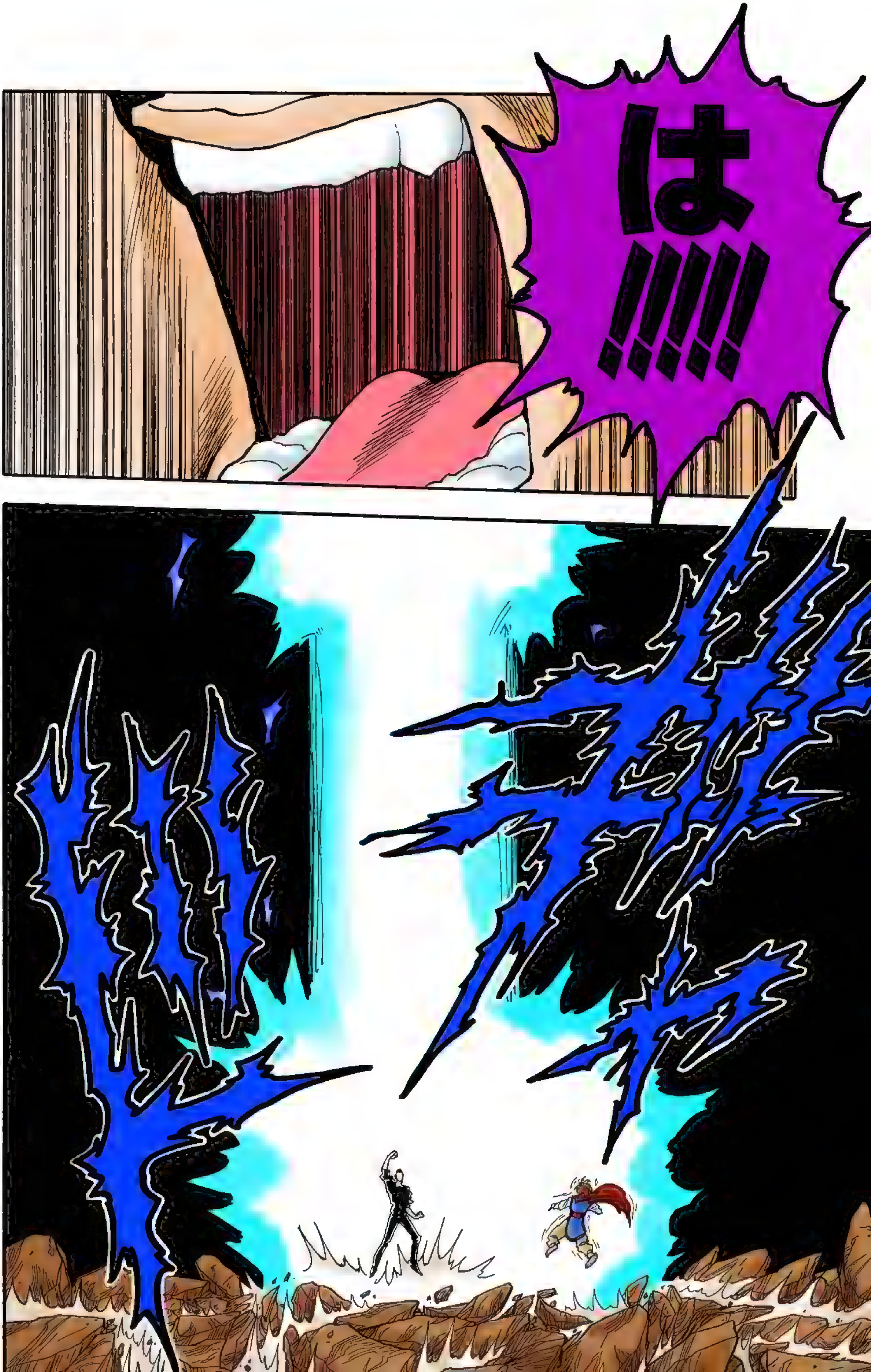
霊界に存在する防御系呪文の
中でも最大最強に位置される。
長い年月をかけて自らの霊気を
聖なる道具(コエンマはおしゃぶり)に送りこみ
敵・あるいは敵地に放ち 強力な結界を
作る。特に魔界の生物には有効で
S級妖怪すら この呪文にかかれば
身動きすらできなくなる。

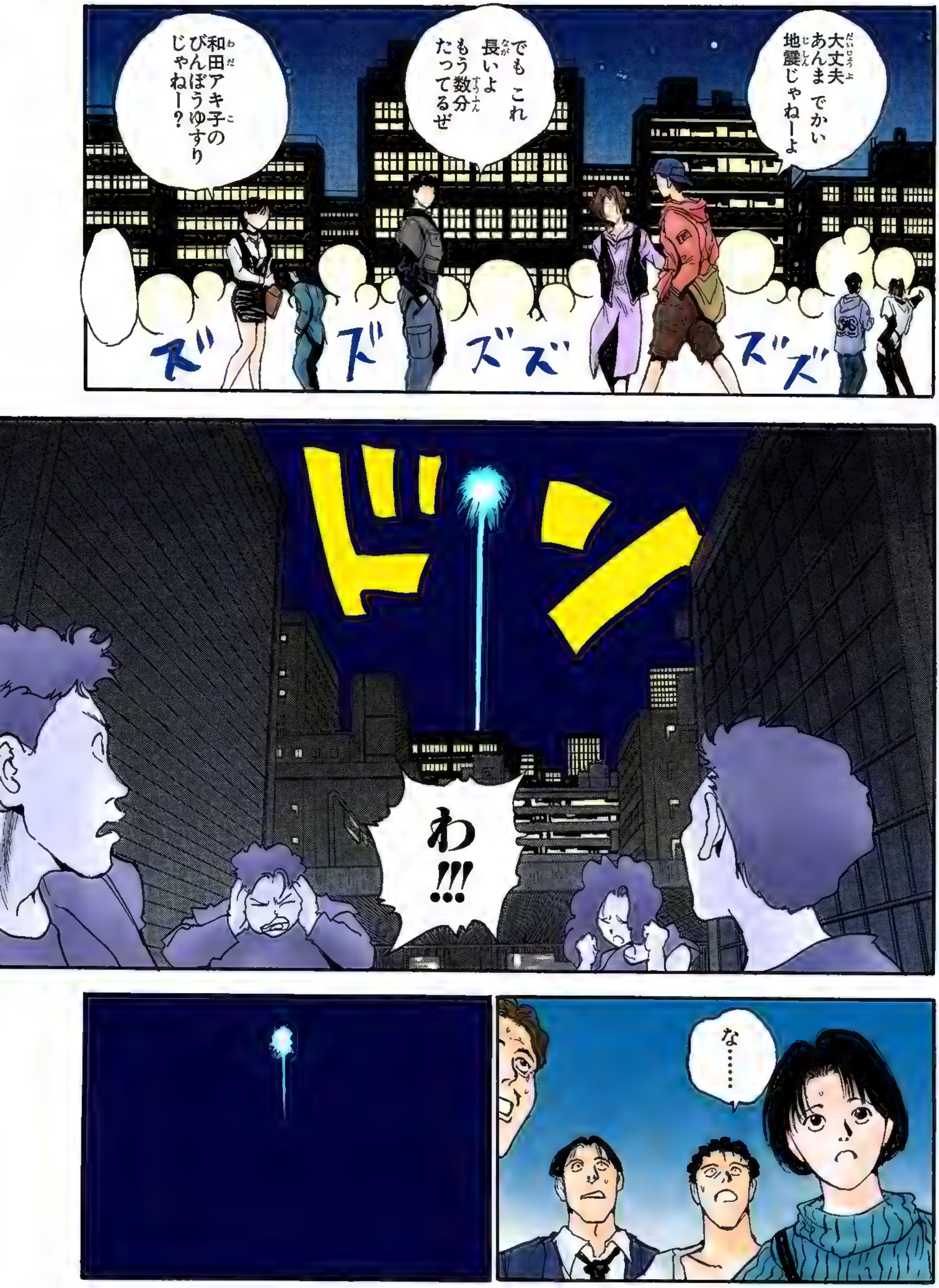
コエンマは過去二度この技を使っている。
しかし 人間に向けて使うのは
これが初めてだった。

ドドドド
何が…起こってるんだ!?
大丈夫なのか浦飯さん達
きゃ…!!
ゴゴゴゴゴ
ズズズズ
幽助…!!
地震が起きたらそれが合図だ
すぐオヤジに知らせろ

ドギューン!!
わっ
グラ
!!
大丈夫か
おい!!
い…今
彼女が着物で
空…!!
心配ない
あっちが本体で
こっちは人形
みたいなもんだ
人形!?
え…でも
うるさいね
納得しな
それより
幽助達が
気がかりだ
この気は
聖光気…!!
もはや我々の
手に負える
レベルじゃない

ギ
そんな…
そんなバカな
ギギ
ふうう〜〜〜…


は!!!!!


大丈夫 あんま でかい 地震じゃねーよ
でも これ 長いよ もう数分たってるぜ
和田アキ子のびんぼうゆすりじゃねー？
ズズ ズズ ズ ズ
ドン
わ!!!
な……

ザワ
ゴゴ
深いよ これー
ズズ
ゴゴゴ
ザワ
底が見えねーぜ
ゴゴ
たしか蟲寄市の下って水脈が走ってんだよな
ああ 入魔洞窟とつながってる自然の大地下道さ
下から何がとび出てきたんだ!?
UFOだ
いや プラズマだ
ガヤガヤ
ワイワイ
ゴゴゴ

妖怪か並の人間になら効いただろう だが考えてみたまえ
人間にとって究極の気である聖光気は聖なる力
霊界の技に共鳴こそすれ封じることなどできない
もう…ワシですらお前を
お前を止められんのだな
何百年かの苦労が水のアワだな
これまでか…
とん

あきらめんのは まだ 早いぜ
幽助!!
ムリだ!! よすんだ
おっと… そうそう とどめだったね
へっ見ろよ あいつの自信を!!
浦飯は きっと 考えがあるんだ!! ただで くたばる 奴じゃねェ!!
!!
ま……まさか

桑原くん君が戸愚呂の時にやったこと
それを今度は幽助が…
ドス
ま
あとはたのんだぜ
浦飯…
まさか
浦飯イイ!!

幽★遊★白書

Yu★Yu★
HAKUSHO

act.145 —— 全てが止まった瞬間!!

浦飯(うらめし)――!!!

act.145——全てが止まった瞬間!!

浦飯よせエ!!
コエンマとめろ!!とめやがれ
浦飯!!
……
どうした…?早くやれよ
お前の…今の強さなら一瞬だ保証するぜ

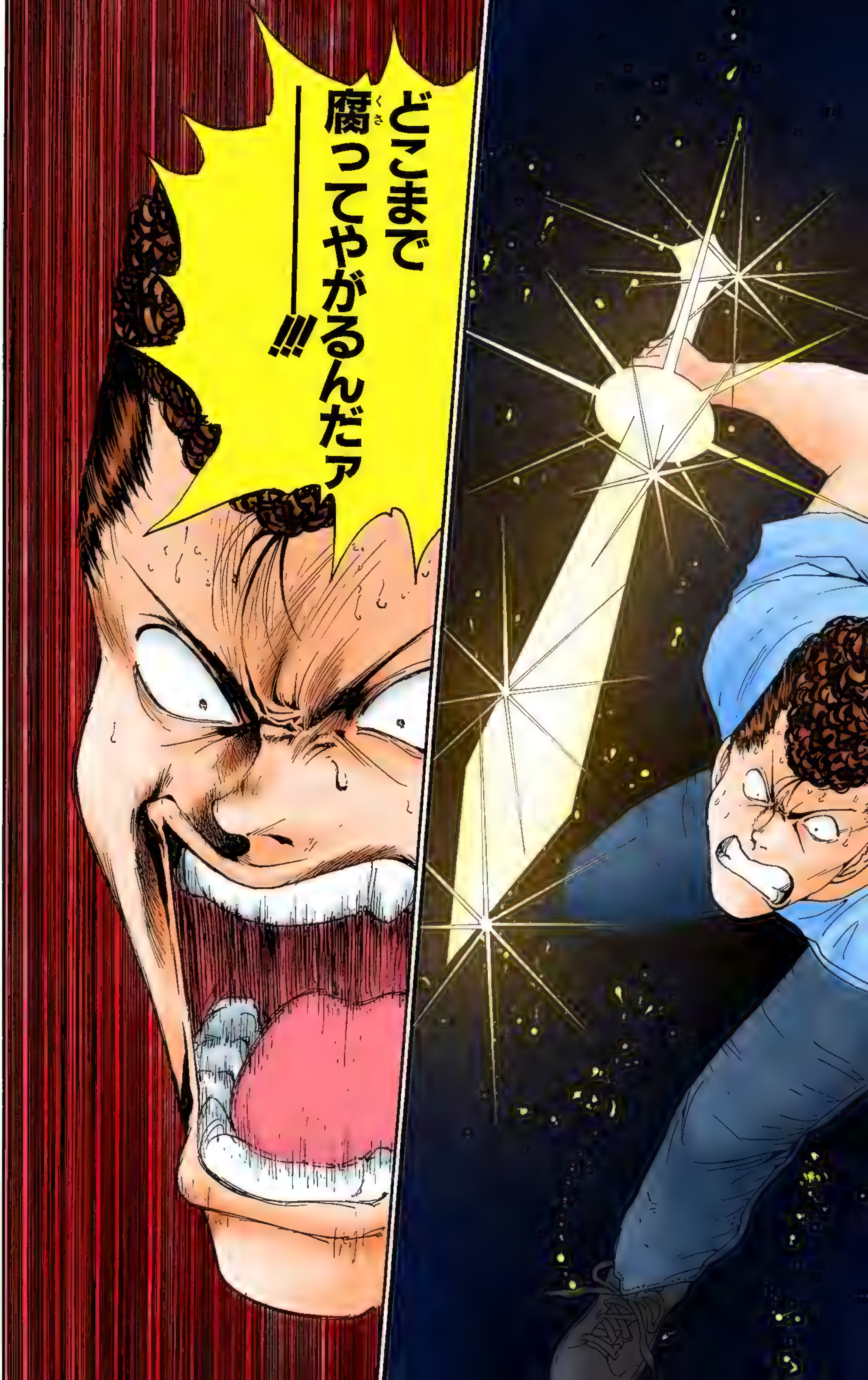
浦飯 聞いてんのか コラァ!!
オレは てめーだから やったんだぞ バカ野郎
誰だ てめェ
桑原ァ? 知らねーな
二度と 忘れられなく してやんぜ
今度こそな
オレは 許さねェぞ 絶対許さねェ
そんな奴に 負けちまうのか てめェ!!
てめェはなァ
てめェは……… オレ…が
必ず次は ぶっ殺すぞ てめェ
いつでも きなさい 結果は同じだ
桑原さん 勝てっこねェって
あいつ鬼より 強いんスから
うるせーな!!
また てめーか 桑原
やったぜ 奴が オレの名前覚えやがった
ちくしょお
そんなことはな
オレが誰より わかってんだよ

何で昔のことが頭ン中浮かぶんだよ
縁起でもねェじゃねェかよォ
浦飯ィイ
どうする…オレが迷うなど久しぶりだ
今の彼にオレを倒す力がないことは確実だな…しかし…
おいキサマ

今すぐオレ達をここから出せ
どうせ死ぬなら戦って死ぬ
あいつとな
飛影
四対一…幽助は怒るかもしれないが
オレは四人のうち誰が欠けてもいやだ
そんなとこまできてしまったからな
蔵馬

幽助のそばにいかせてくれ
だめだね
君達四人が力を合わせても忍は倒せまい……だが
力を合わせて逃げることはできるかもしれない
てめェは
どこまで………

オレは君達の力を過小評価はしない
飛影 蔵馬 お前達はもともとA級クラスの妖怪だろう？
それぞれ事情で今は違うみたいだが
ここで逃がしたら君達は必ず前以上に強くなる
出そうなクイもうつ
君達には一人ずつ死んでもらう
………
読んでやがった
たいしたもんだよ
キサマもな…
!!

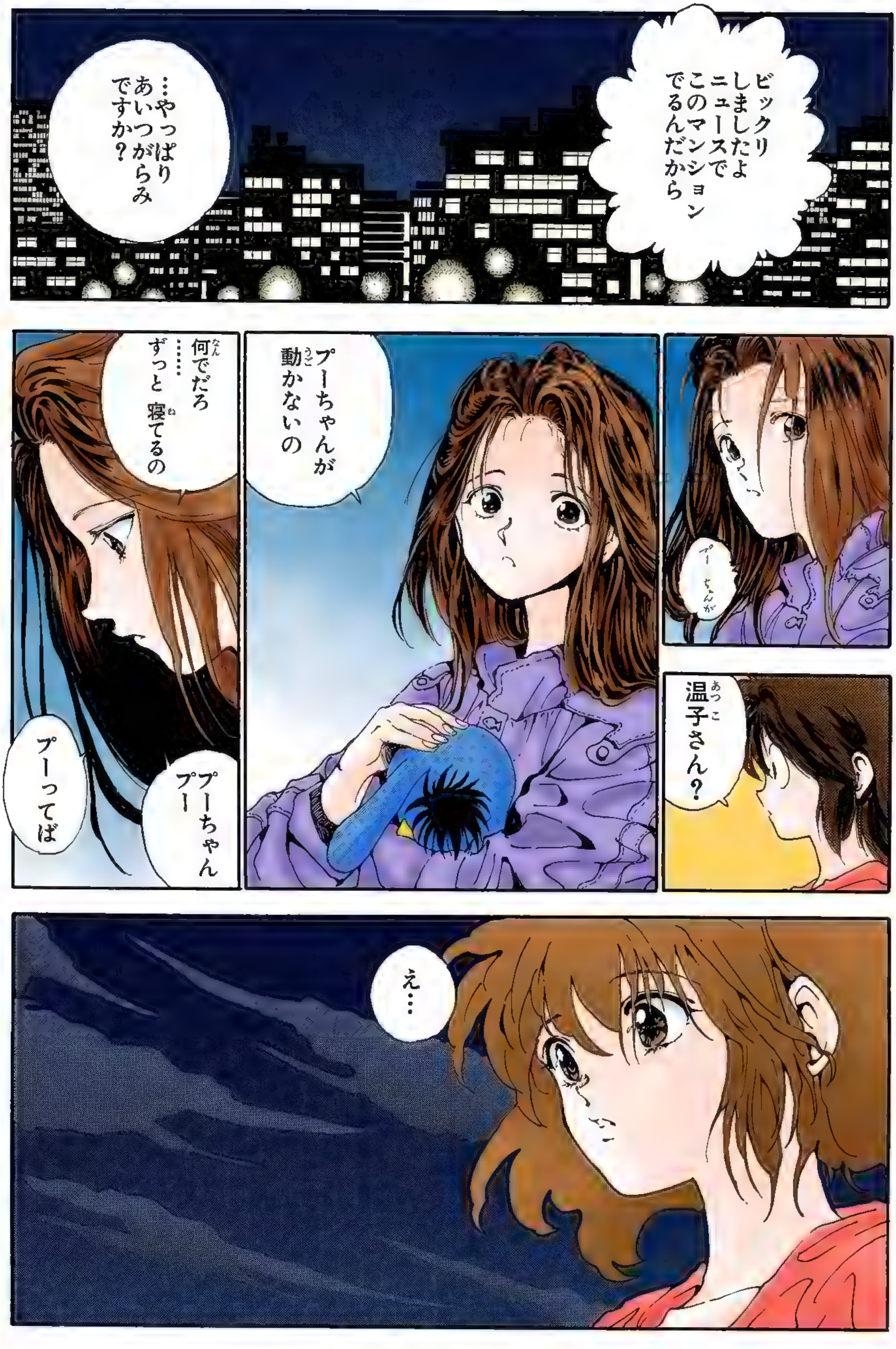

どこまで腐ってやがるんだァ――!!!

忍!!
浦飯を殺れ!!

サシュ

ザシャ!!

トン トン
うわっ…やっぱり
温子さん
まさか幽助がやったんじゃないでしょうね

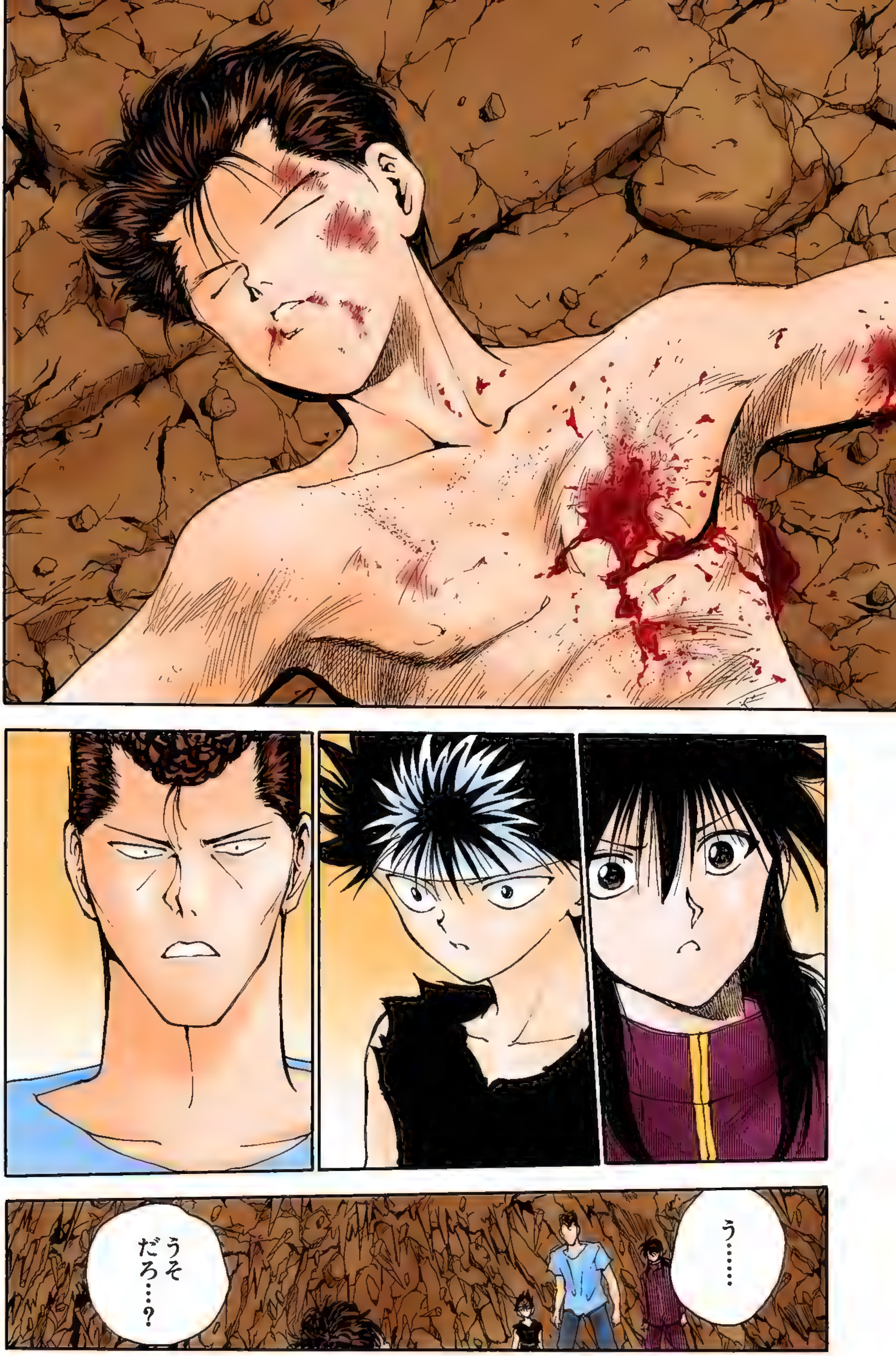

ビックリしましたよ ニュースでこのマンションでるんだから
…やっぱりあいつがらみですか？
プーちゃんが
温子さん？
プーちゃんが動かないの
何でだろ…… ずっと寝てるの
プーちゃんプー
プーってば
え…

彼は今
死んだ
ゴゴゴ…
さびしくなんかないよ
お前達もすぐだから

幽遊白書

Yu★Yu★
HAKUSHO

act.146——魔界への突入!!


う……
うそだろ…?

へ…へへ だまされねーぞ
ほんとは笑うの こらえてやがるだろ てめー‼
キュ
キュ
キュ
起きろよ コラ
鼻と口おさえてんだぞ 苦しいだろーが
どんなにシバイしたってよ
心臓の音聞けば一発でバレバレだっつーの コラ
浦飯…

ゴゴゴゴ
映画は終わってしまっていたね
戦いに夢中でエンディングを聞きそびれてしまった
とても美しい鎮魂曲
今の彼にピッタリだったのに

まあいい
本当のフィナーレはこれからだ

第一の扉はついに開けられた
案内してもらおうかこの先へ
どこへだって行ってやるぜ!!

!!
ほう…!
この妖力…
A級なみとみたね

浦飯…
すぐ後から いくかも しんねーけどよ
ハデに やられて みせるぜ
胸はって あえるようにな ……!!

邪王炎殺黒龍波――!!
このまま魔界まで運んでやるぜ

うむ 心地よい

ゴゴゴ…
ズズズ…
……

くっ…
ググ
グラ
!!
だ…大丈夫ですか!!
一体どうなるんです?
とうとう穴は開いてしまった
さっきまで群がっていた妖怪は飛影の一撃で消しとんでしまっただろう
しかしすぐに無数の魔物が押し寄せてくる
だが本当に恐ろしいのはそんな連中じゃない
え?
強力な力を持つ妖怪ほど利口で慎重だ
そいつらが「この穴は安心して通れる」と判断した時人間界は終わる

あ…!!
でもまだ結界がある!!
人間界と魔界の
間に結界を
はってあるんでしょう
強力な妖気を
持つ妖怪ほど
その結界がジャマをして
通れないと樹さんが
言ってた
その結界
さえ
あれば…
桑原が
切るさ
?
な
なぜ!?
仙水と
戦う
ためにだ
か…
勝ち目は
ないのに
そういう
奴だ
ワシには
もう
止められん
その力も
資格もない

オオオオオ
ここは!?
亜空間 人間界と魔界のはざまだ
いたぞ奴だ
結界の前に…
!?

仙水が結界を
結界を越えている!?

言っただろう 私の聖光気は 聖なる力
霊界の結界が封じることのできるのは 魔の力だけさ
現に君が放った黒龍波とやらは 結界にかき消された
しかしそれは 喜んでいいことだよ この結界はA級以上の 妖力にしか 反応しないのだから
つまり君らは 皮肉にも彼の 死によって 元の 力に目覚めた
しかし 困ったことに その力のせいで 結界を越えられ なくなってしまった わけだ
黒龍波でさえ 服すら 焼けてない
あの気だけで 全て遮ったと いうのか
蔵馬

なるほど
さあ桑原くん この結界を切ることができるのは君の次元刀だけだ
考える時間が欲しければ一日くらいはやってもいいが
ふざけんな
うらぁ

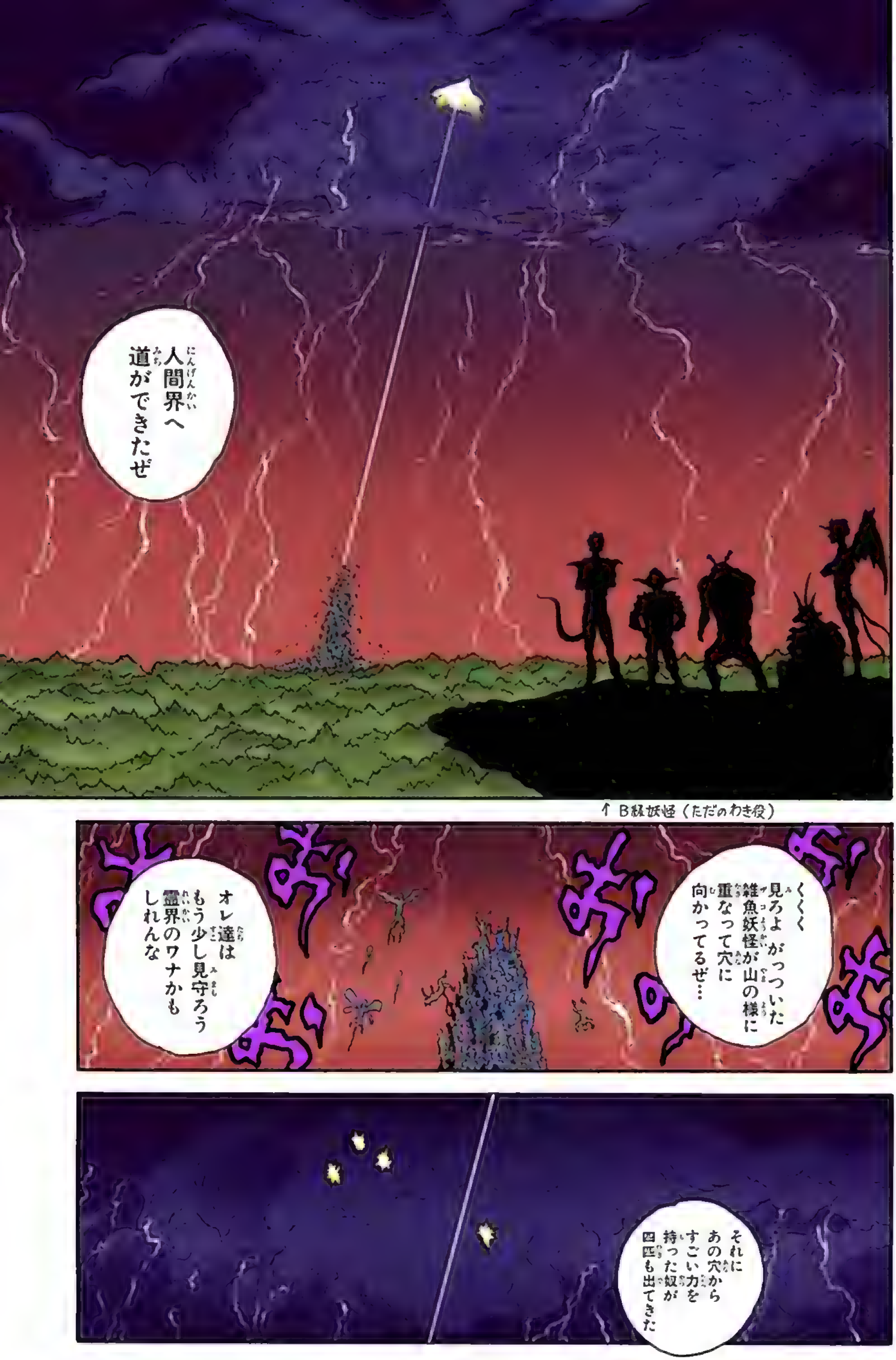
ただじゃくたばらねェぜ
浦飯への土産にてめェの腕一本くれーは持っていく

霊界
コエンマでも止められんかったか
はい…
あ!!でもきっと幽助達がきっとなんとかしてくれます
ムリだな…
エンマ大王様……
しかたあるまい
特別防衛隊の出動を要請しよう

DIGITAL
SHUEISHA JUMP COMICS

act.147 —— 絶望の続き…!!

霊界特別防衛隊
妖怪の間では〝追跡者〟の俗称で呼ばれおそれられている
主な任務は魔界(霊界が管理している地域)のパトロールと管理地区拡大のための妖怪駆除である
また人間界で成長した妖怪がA級クラスの力を持ち人間に有害であると判断された場合強制的にこれを抹殺することもある
特別警戒サイレン…いつ聞いてもいやな音だ まさかのん気なオルゴールにするわけにもいかんしな
初めてだわこんな緊迫した霊界は
一体どうなるの


人間界へ道ができたぜ
↑B級妖怪（ただのわき役）
くくく 見ろよ がっついた雑魚妖怪が山の様に重なって穴に向かってるぜ…
オレ達はもう少し見守ろう 霊界のワナかもしれんな
それにあの穴からすごい力を持った奴が四匹も出てきた

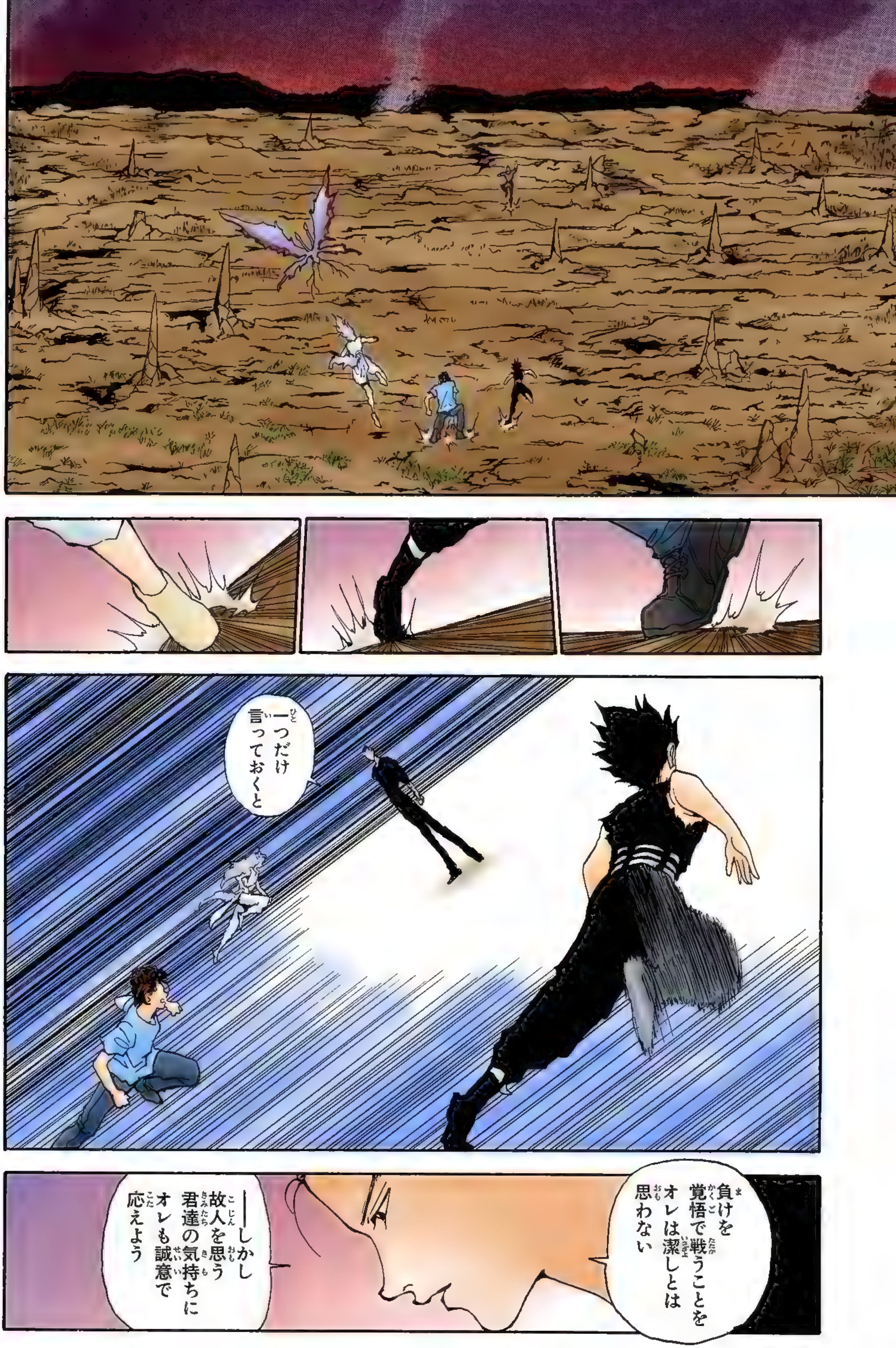
act.147――絶望の続き…!!

ここが魔界…
素晴らしい
おいおい空のど真ん中に出ちまったぞ
おォちィイるゥウウゥ
ここは魔界のどこら辺だ
見覚えがある愚者の森
運がいいぜ この森あたりの妖怪どもは まだおとなしいほうだ

バッ
つかまれ
!!
羽根まで生えんのかオメーはよ
浮葉科の魔界植物だ
三人は ちと重いが なんとか飛べるだろう
ギュウウウウウ
ざまぁみやがれ 奴は まっさかさまだ
真っ赤なトマトにでもなっちまえ

フン
!?
何!?
今 現在 天使は神の使いと されているが
かつてオレのように 聖光気を纏う者を 人々が〝天使〟と 呼んだのであろう
気の究極は 自然との融合だ
魔界の風は 少々扱い づらいがな

なんでもありだぜ あの野郎も
まあ いいさ ここまできたら逃げる気もない
決着をつけてやるぜ
この美しい森をなるべく傷つけたくない
あそこで勝負を決めようか
断首台の丘か
最後の戦いにはもってこいだ


一つだけ言っておくと
負けを覚悟で戦うことをオレは潔しとは思わない
――しかし故人を思う君達の気持ちにオレも誠意で応えよう

ブオォオ
ぐっ
いまさらこんなんでビビるかバカ野郎!!
ズ
うお!?
ズ

気鋼闘衣!!
高めた気は物質と化し至高の武器にも防具にもなる
蔵馬君 君のその白魔装束とまあ似たようなものだ

ちっ
明らかにレベルが違うといいたげだな
ぬううううん!!
黒龍波!?二発目だぞ
……
飛影……本当に後のことは考えていないようだな…
ズーン
シャ!!
ゴゴゴ

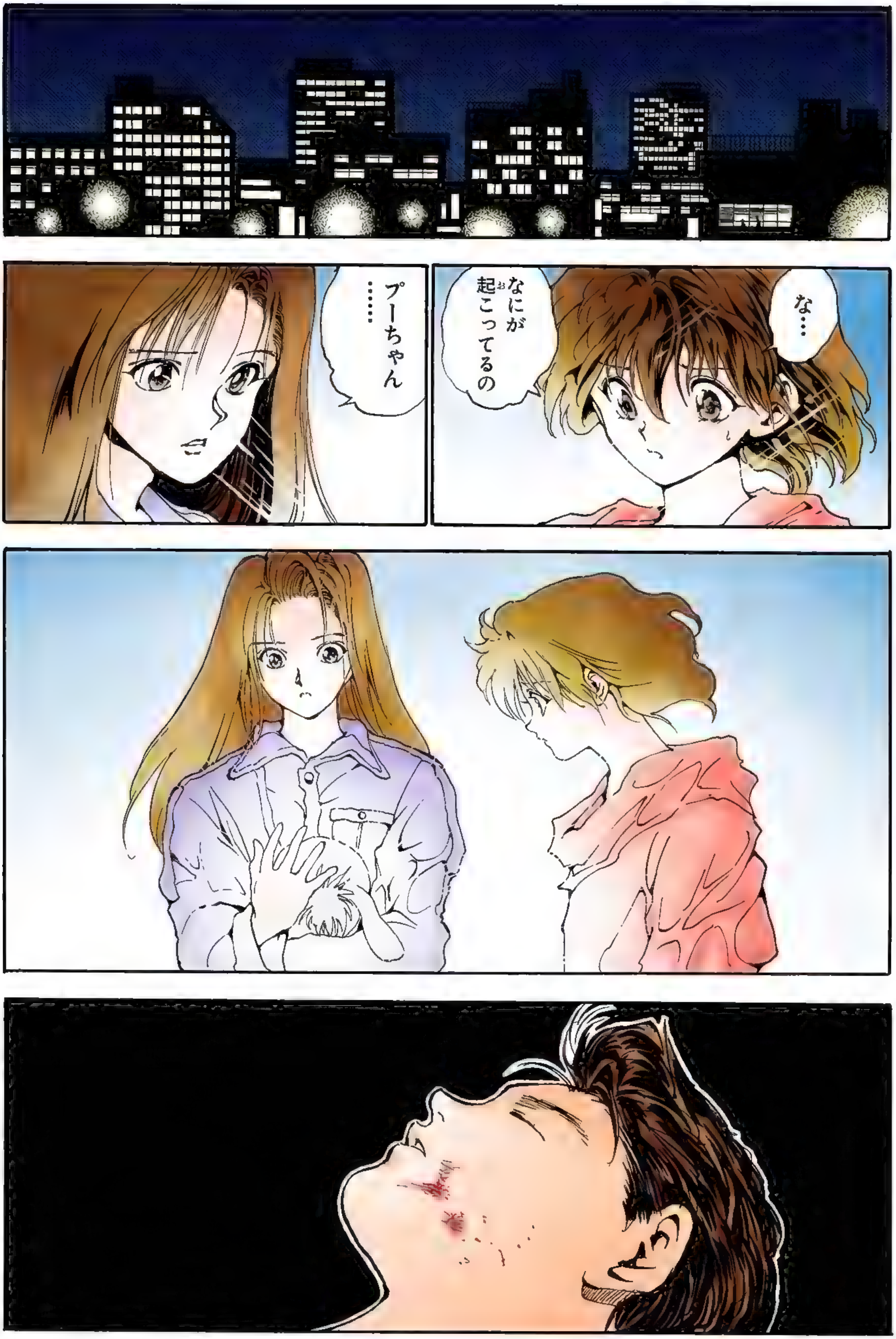
こォオオオ
オオオ!!
はァ――!!

ドゴ
ぐっ
バキッ
バッ
バッ
ザザ
樹霊妖斬拳!!
じゅりょうようざんけん
次元刀!!
じげんとう
ヒュウウウウ

裂破風陣拳(れっぱふうじんけん)!!!!
ゴオ!!
蔵馬(くらま)!!

おのれくらえ——!!
邪王炎殺剣!!!
な…

バキッ
がっ…
な…んて野郎だ
なまじ ハンパに強いと無惨だな 無意識でも防ごうとする
お前達… 気の毒だが楽に死ねないよ


な…
なにが起(お)こってるの
プーちゃん……

幽☆遊☆白書

Yu★Yu★
HAKUSHO

act.148 ―― 覚醒の瞬間!!

act.148――覚醒の瞬間!!

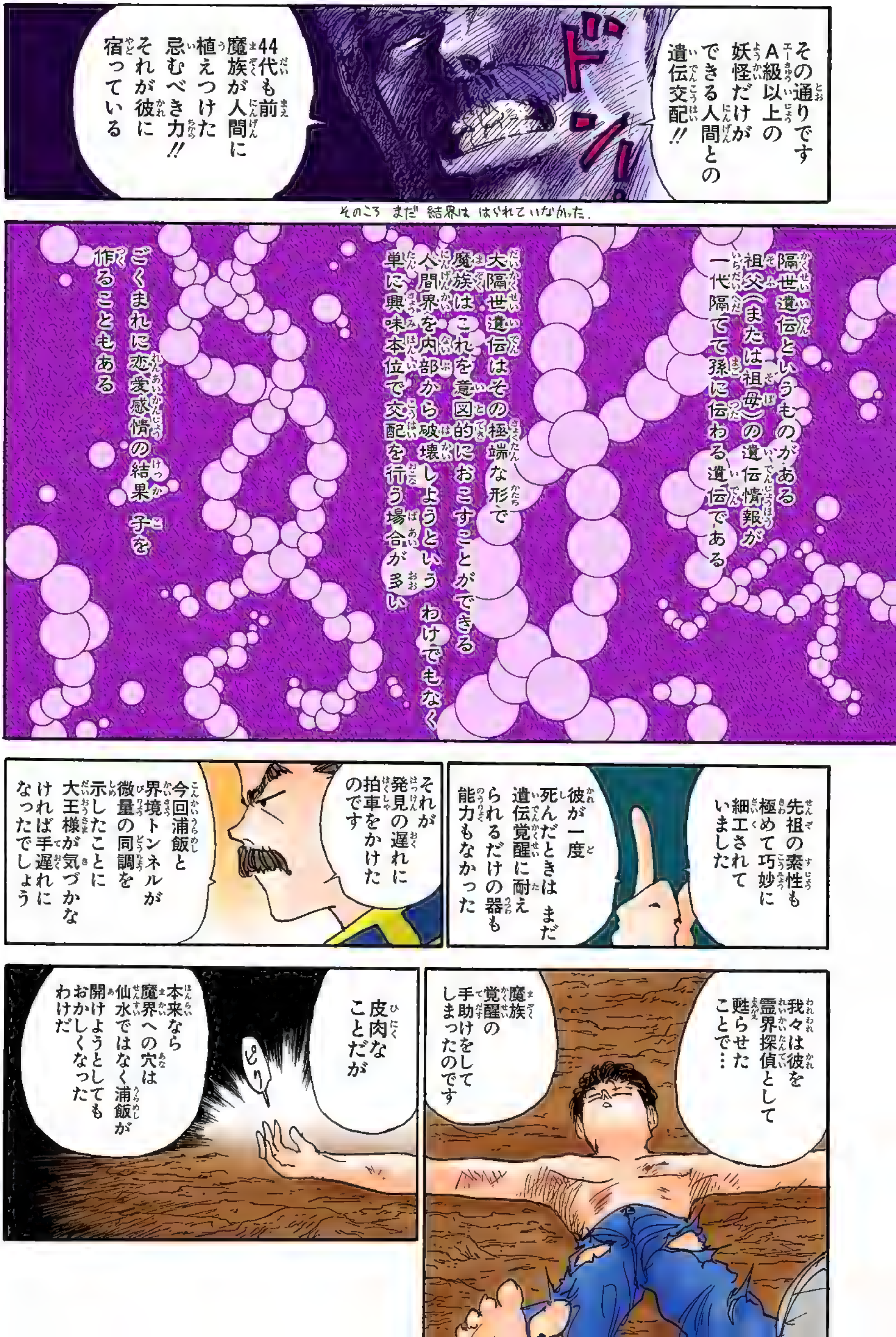
おかしい……
え?
幽助の霊体があがってこない
心臓が動いてないことは確かなのに
!? 死んでないってことですか
いや…死んでるからおかしいんだ
む!!
こ今度は何ですか?
は!

霊界特防隊

翁法！草雷 才頭！三人で 穴をふさげ どの位かかる!?
三人がかりで 10日ほど かかります
一週間で やれ
了解
侠妃！倫霏 舜潤は 亜空間で待機!!
妖怪が きたら 始末しろ
了解!!
あ… あの人達は …!?
霊界の軍隊 その中でも 彼らはエリートの 戦士だ
ドドド
コエンマ様 おケガは？
大丈夫だ
一度霊界へ 戻りお休み 下さい
そうは いかん！ ワシは これから 魔界へいく
あなた様は霊力を 使い果たし冷静な 判断力も欠いて おられます
エンマ大王様の 御命令です!! お戻り下さい
隊長 大竹

オヤジの命令でも聞けんな
ここはワシの全責任をかけて行動する
……つらいものを見ることになりますぞ
何!?
ブゥン…
!?
小僧はなれろ
なっ
何をする!!

浦飯幽助を抹消します
な…
気は確かかお前達!!
混乱されるのも無理はありません
我々もエンマ大王から調査の命を受けるまで考えもしませんでした
浦飯幽助は魔族の子孫です
バカな!!あいつの両親は人間だぞ!!
そうです祖父も祖母も人間です
その前もその前も人間ですが……
『魔族大隔世』……!!
ま…まさか

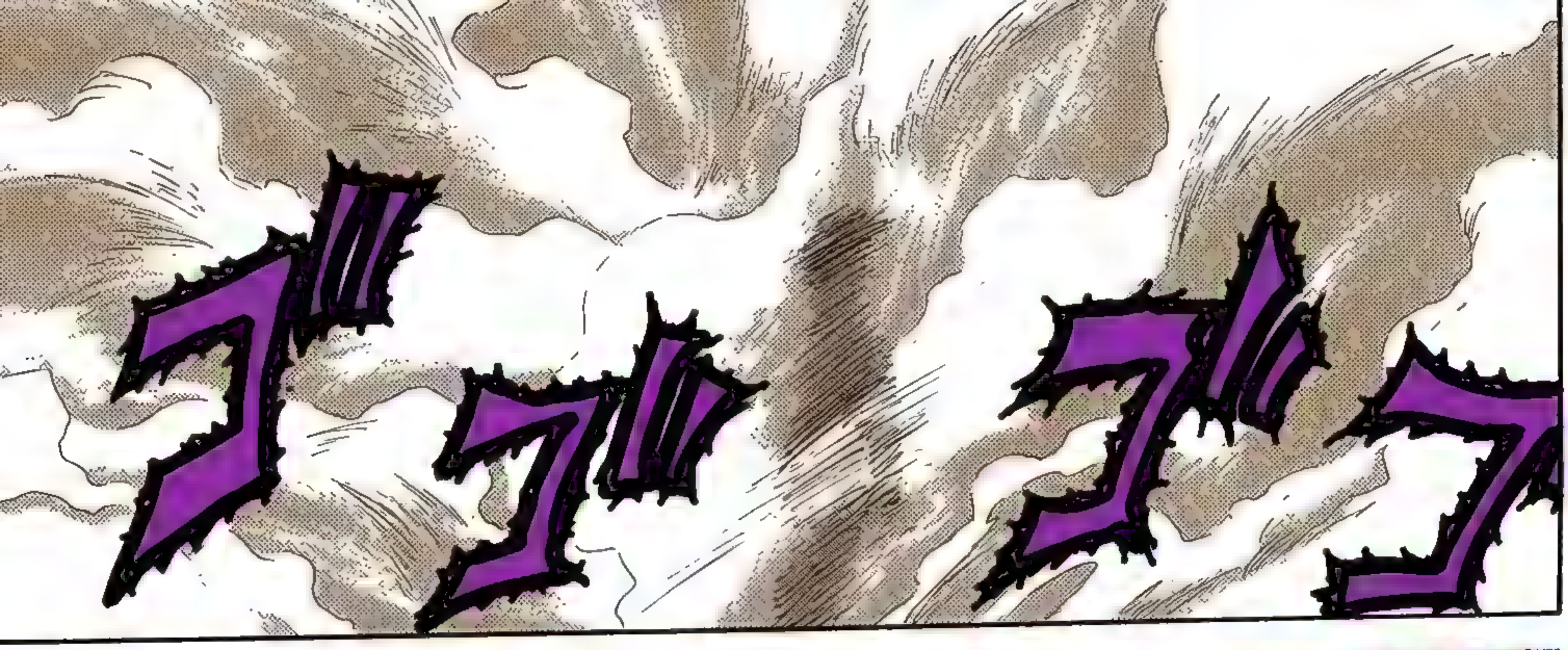

その通りです A級以上の妖怪だけができる人間との遺伝交配!!
ドン!!
44代も前 魔族が人間に植えつけた 忌むべき力!! それが彼に宿っている
そのころ まだ 結界は はられていなかった。
隔世遺伝というものがある 祖父(または祖母)の遺伝情報が 一代隔てて孫に伝わる遺伝である
大隔世遺伝はその極端な形で 魔族はこれを意図的におこすことができる
人間界を内部から破壊しようというわけでもなく 単に興味本位で交配を行う場合が多い
ごくまれに恋愛感情の結果 子を作ることもある
先祖の素性も極めて巧妙に細工されていました
彼が一度死んだときは まだ遺伝覚醒に耐えられるだけの器も能力もなかった
それが発見の遅れに拍車をかけたのです
今回浦飯と界境トンネルが微量の同調を示したことに大王様が気づかなければ手遅れになったでしょう
我々は彼を霊界探偵として甦らせたことで…
魔族覚醒の手助けをしてしまったのです
皮肉なことだが
ピク
本来なら魔界への穴は仙水ではなく浦飯が開けようとしてもおかしくなったわけだ

一体(いったい)…何(なに)を
何(なに)を言(い)ってるんだあんた達(たち)は
浦飯(うらめし)さんが今(いま)まで誰(だれ)のために戦(たたか)ってきたと思(おも)ってるんだ
魔族(まぞく)の血(ち)が入(はい)ってたからといってそれが何(なん)だってんだ
う…!!
トン
それが一番重大(いちばんじゅうだい)なことなのだ
このままだと仙水以上(せんすいいじょう)に厄介(やっかい)な存在(そんざい)になる
ズル ズル
桑原達(くわばらたち)を仙水(せんすい)もろとも魔界(まかい)に置(お)き去(さ)り
一度甦(とよみがえ)らせた幽助(ゆうすけ)を抹殺(まっさつ)するというのか
絶対(ぜったい)に許(ゆる)さん

御免!!
う!!
キ…サマ
霊界の意志です!!
隊長!!
む!
はうぁ、
覚醒が始まる!!
うてェエイ

!!
霊界獣(れいかいじゅう)!?
かまうな うて!!

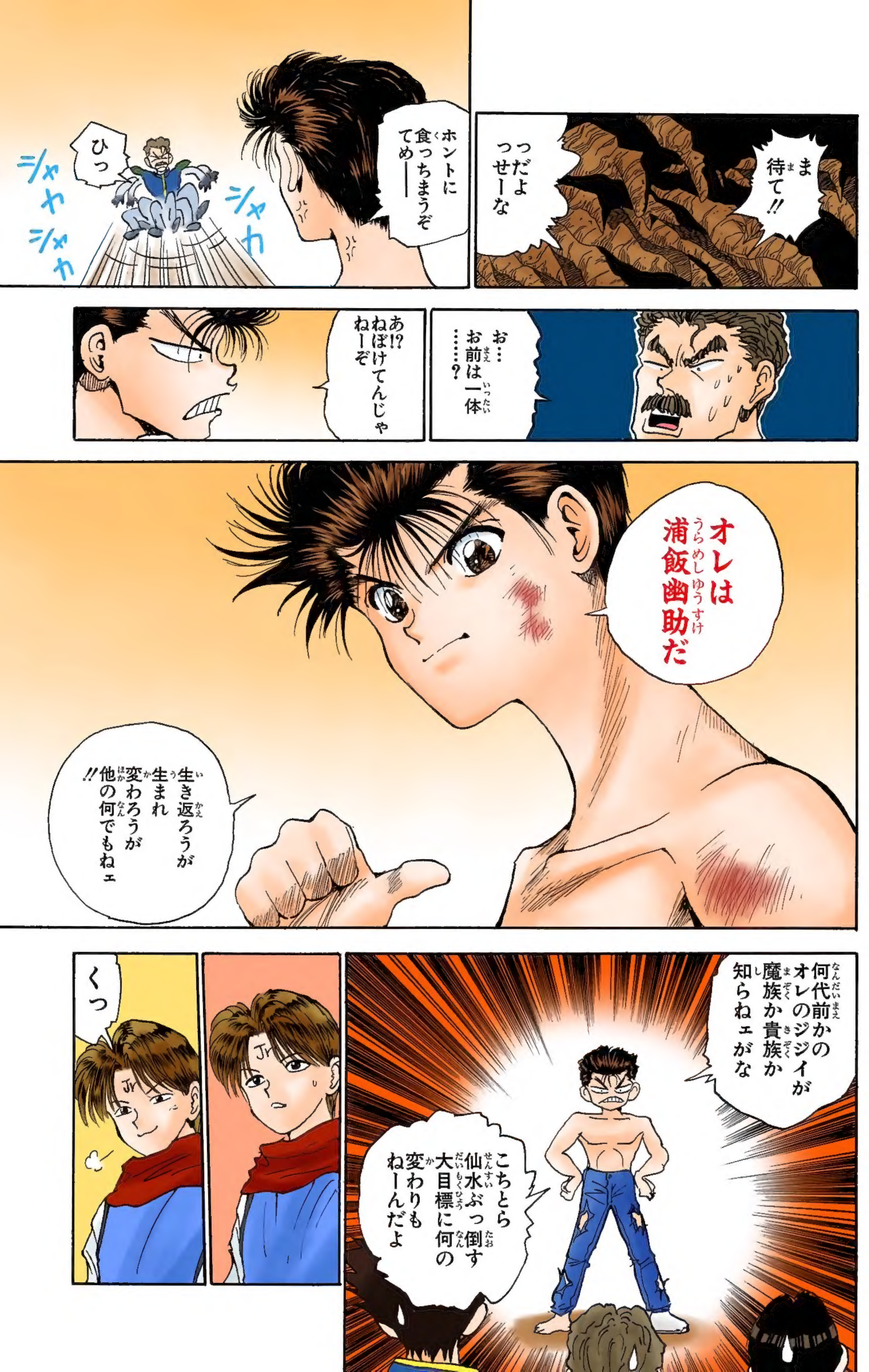
ドドドドドド
や…め…ろ
うつな!!
ドドドドドド
!!
隊長……
どうやら……もう
プーー……もういいよ
大丈夫だ


ゴゴ ゴコ

なんだオメー ちょっと見ねーうちにでかくなったな
ま…まじかよ…
途中からだが話は聞こえてたぜ
オレが魔族の子孫だってな
どうりで気分がスッキリしてるわけだぜ
生まれ変わったってわけだ

な…なんて妖気だ…!!
隊長!! こいつは我々の手に追えませんよ!!
くそオ
ギッ
さがれ こわっぱが!!
ドン!!
ぐっ
うお!!
ヒイイイ
強すぎるゥゥ
頭が高い 我を何と心得る
魔王の血を引く者ぞ!!
さて…目覚めのついでに
キサマらにオレの真の姿を見せてやろう
!!

ははははは
ヒィイ
な…
なーーんちゃって
ウソだよバーカ
コエンマ 桑原達はもう魔界だな
あ
ああ
急がねェとな
今のあいつらじゃあの仙水の相手はちっときついだろ


ま待て!!
つだよつせーな
ホントに食っちまうぞてめ――
シャカ
ひっ
シャカシャカ
お…お前は一体……?
あ!?ねぼけてんじゃねーぞ
オレは浦飯幽助だ
生き返ろうが生まれ変わろうが他の何でもねェ!!
何代前かのオレのジジイが魔族か貴族か知らねェがな
こちとら仙水ぶっ倒す大目標に何の変わりもねーんだよ
くっ

くっくっく
わっはっはっはっはっは
幽助!! ワシも行くぞ
コ ココエンマ様なりません!! 大王様の命にこれ以上そむくことなど
オヤジに言っとけ クビでも勘当でも勝手にしろとな
よっしゃつかまれ!!
プー 出発だ
バサッ
バサッ
………
な…なんてことだ
霊界はじまって以来の一大事だァ

幽助
このまま人間界に戻れんかもしれんぞ
後だ あとあと!!
仙水倒してから考える!!
くっくっく
それでこそお前だ!!
気持ちワリーな 頭でも打ったんじゃねーのか
急げ!!

DIGITAL
SHUEISHA JUMP COMICS

デジタルカラー版
幽★遊★白書
16巻

冨樫義博
© 冨樫義博 1993
初版発行　　　　1994年
デジタル版発行　2015年

発行所　集英社
http://www.shueisha.co.jp

この作品は、著者カラー原画に加え、著者の原画をもとに集英社でデジタル彩色を行った特別編集版です。

本作品の内容あるいはデータを、全部・一部にかかわらず、無断で複製、改竄、公衆送信(インターネット上への掲載を含む)することは、法律で禁じられています。また、個人的な使用を目的とする複製であっても、コピーガードなどの著作権保護技術を解除して行うことはできません。